

まちづくり報告書

(令和7年度分)

令和8年9月
企画調整課

- ◆令和8年9月時点で取得できない指標は、空欄又は暫定値となっています。
- ◆「対基準値」「対前年度」「目標達成度」の各マークは、単に指標実績値のみによるのではなく、主管課が総合的に判断し選択している場合があります。

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01	安全な水道水の安定供給	3
施策 02	汚水処理の推進	7
施策 03	秩序ある市域の整備	11
施策 04	公共交通の充実	15
施策 05	道路・河川・水路の整備と保全	17

政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01	環境保全と脱炭素社会の促進	21
-------	---------------	----

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01	農業の振興	25
施策 02	地域に活力をもたらす産業・雇用の創出	29
施策 03	観光の振興	33

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01	子育て支援の充実	37
施策 02	健康づくりの推進	41
施策 03	高齢者福祉の充実	45
施策 04	障害者（児）福祉の充実	49
施策 05	セーフティネットの推進	51
施策 06	地域福祉の推進	53

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01	学校教育の充実	55
施策 02	生涯学習・スポーツの推進	61
施策 03	男女共同参画社会の推進	65
施策 04	人権尊重と同和教育の推進	69

政策 06 安心で安全に暮らせるまちづくり

施策 01	防災・減災対策の推進	71
施策 02	安全な暮らしの推進	75
施策 03	消防・救急・救助体制の整備充実	79

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 01	市民協働の推進	83
施策 02	デジタル化の推進	87
施策 03	積極的な広報・広聴の展開	91
施策 04	持続可能な行政経営	93
施策 05	持続可能な財政運営	97
施策 06	市民から信頼される職員・組織づくり	101

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01 安全な水道水の安定供給

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	上水道普及率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	80.7	79.1	79.4	84	☔ (低下)
評 価	(状況) 0.3ポイント増となった。 (原因) 給水区域内人口が227人増、給水人口が4人となったことにより、上水道普及率が微増となった	(％) 				対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■■■ (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 管網の整備

指標	給水戸数（戸） 【上下水道課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		16,631	17,080	17,307	17,119	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度227戸増である。 (原因) 給水人口は4人増に対して、給水戸数は227戸増であった。 人口に対して戸数の増が大きいのは、核家族化の進行に伴う1世帯あたりの世帯人員（人口数／世帯数）の減少及び集合住宅の増加が主な原因と考えられる。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業01 管網の整備

指標	管整備延長（m） 【上下水道課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		252,469	263,684	265,771	259,900	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比2,087m増加した。 (原因) 管整備延長は順調に増加している。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	浄水・配水施設の維持管理上のトラブル数（件） 【上下水道課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 施設のトラブルはなかった。 (原因) 良好な維持管理を行い、安定供給ができています。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	有収率（％） 【上下水道課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		90.8	92.05	94.43	94.4	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より若干向上している (原因) 配水管の老朽管更新事業を継続して推進し、漏水事故を未然に防止していく必要がある。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	水質基準適合率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況) 水質基準適合率は100%である。 (原因) 良好な水質管理ができています。	(％) 				☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業03 健全な上水道経営の推進

指標	経常収支比率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	126.5	116.25	109.01	117	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比7.24ポイント減である。 (原因) 給水収益は増となったが、受託工事の減少や給水管等の修繕工事等にかかる費用が増加したことが要因となった。	(％) 				☂ (低下)
						目 標 達成度 ☂ (低)

基本事業03 健全な上水道経営の推進

指標	給水原価 (円/m3)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	141.7	159.39	173.48	173.3以下	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度比14.09ポイント増。 (原因) 給水管等の修繕工事費や委託料の増が、給水原価を引き上げる要因となった。	(円/m3) 				☂ (低下)
						目 標 達成度 ☂ (中)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 02 汚水処理の推進

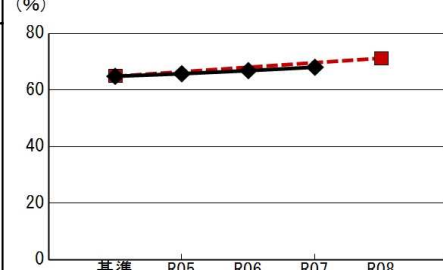
あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	汚水処理人口普及率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	77.8	80.4	81.9	81.8	☀ (向上)
評 価	(状況) 前年度比1.5ポイント増。目標達成率100%。 (原因) 下水道整備面積の増加に伴い下水道処理区域内人口が627人増加したのに対し、合併処理浄化槽使用人口は66人減少したものの、汚水処理人口としては561人増加となった。	(％) 				☁ (横ばい)
						目標 達成度 🏰 (達成)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道整備進捗率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	64.8	66.8	68.0	71.2	 (向上)
評価	（状況）前年度比1.2ポイント増 （原因）今年度9.5haを整備し、実整備面積は550.0haとなり、 全体計画面積809.1haに対して68.0%となった。					（％）
						対 前年度
						 (向上)
						目 標 達 成 度
						 (高)

基本事業04 健全な下水道経営の推進

指標	経常収支比率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	117.9	121.5	119.8	120.3	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比1.7ポイント減。 (原因) 使用料収入や一般会計繰入金の減少により経常収益が1,600万円減少、流域下水道維持管理負担金や支払利息の減少により経常費用が300万円減少した。 経常収益の減少幅が経常費用の減少幅より大きかったことにより前年度より1.7ポイント減となった。	(％) 				対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業04 健全な下水道経営の推進

指標	汚水処理原価 (円/m³)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	256.2	242.2	256.2	250.4	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度比14円増。 (原因) 前年度より汚水処理費が800万円増加、年間有収水量が60,416立方メートル減少したことが要因。	(円/m³) 				対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 (---)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 03 秩序ある市域の整備

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	住宅、店舗、工場、公園などが計画的に開発・配置されている（乱開発されていない）と思う市民の割合（%） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		56.7	60.5	63.5	68.3	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比3.0ポイント増加し向上した。 (原因) 筑後、下妻、西牟田校区以外の校区のポイントが前年から向上している。宅地造成や周辺の道路整備などの開発が適切に進んでいることが要因と考えられる。	(％) 				☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【都市対策課】	28.4	26.8	57.1	41.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度比30.3ポイント向上した。 (原因) R6年5月に用途地域を拡大し、面積が拡大したことや、用途地域内の宅地化が進んでいることが要因と考えられる。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	都市計画用途地域内農地率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【都市対策課】	15.7	14.0	14.3	15.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度比0.3ポイント増加し減少した。 (原因) 用途地域を拡大し面積が増加した。 用途地域内の土地において都市的利用の鈍化、都市化が飽和に近づいている。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ☔️ (低下)
						目標達成度 🏠 (達成)

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	市民1人当たり公園面積 (㎡/人)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【都市対策課】	16.3	16.3	16.4	27.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 前年比0.1ポイント増加し向上した。 (原因) 新規の公園整備は行われておらず、人口が減少したことにより数値が向上している。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 🏠 (中)

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園の量・施設に満足している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【都市対策課】	83.3	84.1	86.9	85.0	☀️ (向上)
評価	(状況) R6の84.1%から2.8ポイント増加し、86.9%となった。 (原因) R4年度以降、公園施設等長寿命化計画に基づき、遊具や階段等の公園施設を整備・更新してきたことが評価されたもの					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園遊戯施設の機能に関する総合判定結果が健全である割合（％） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		25.4	78.2	69.4	48.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比8.8ポイント減少した。 (原因) 公園施設等長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具を計画的に更新してきた結果目標達成している。危険度判定の委託業者が変更したことにより、前年度よりもわずかに低下した。	(％) 				対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通の充実

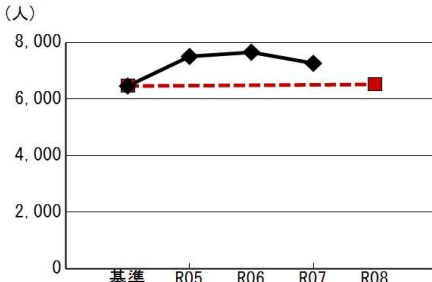
あるべき姿

■施策の成果状況と評価

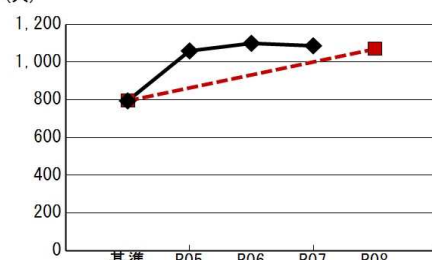
指標①	鉄道に満足している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	80.0	68.2	77.6	83.4	(横ばい)
評価	(状況) 前年度比9.4ポイント増加し向上した。					(向上)
	(原因) 駅利用者数は、コロナ禍前の人数まで回復してきており、R7.3月のJR九州春ダイヤ改正では、R6.3月の一部ダイヤ改善の内容から変化がなかったことが要因と考えられる					目標達成度 (高)
指標②	路線バス、タクシー、コミュニティ自動車に満足している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	74.9	61.5	73.2	67.2	(低下)
評価	(状況) 前年度比11.7ポイント増加し向上した。					(向上)
	(原因) 市内タクシー事業者が、2社から3社に回復したことが、利便性の向上につながり、満足度が向上したと考えられる。また、羽犬塚駅周辺循環バスの本格運行を開始したことも満足度向上につながった。					目標達成度 (達成)

■基本事業の成果状況と評価

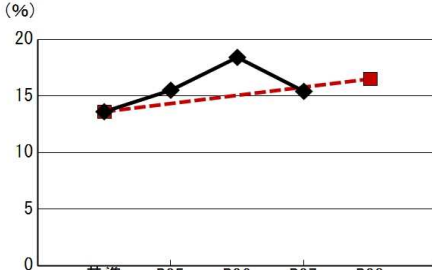
基本事業01 鉄道利用環境の充実

指標	JR在来線3駅の1日乗降客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	6,454	7,647	7,258	6,510	☀ (向上)
評価	(状況) R6とR7の実績値を比較し389人減少した。 (原因) ダイヤ等がコロナ禍以前までの改善がなされていないため、コ ロナ前までの水準に回復していないと考えられる。					☁ (横ばい)
						☀ (達成)

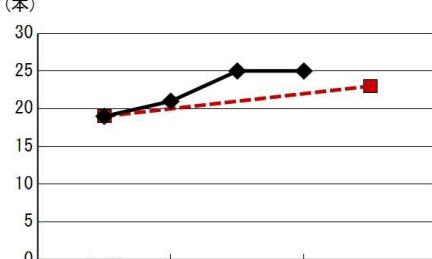
基本事業01 鉄道利用環境の充実

指標	JR新幹線筑後船小屋駅の1日乗降客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	794	1,099	1,086	1,069	☀ (向上)
評価	(状況) R6とR7の実績値を比較し13人減少した。 (原因) R6.3月のダイヤ改正での一部改善により、JR新幹線船小屋駅の 乗降客数はコロナ前までの水準に回復していると考えられる。 今後の利用者の動向を見極める必要がある。					☁ (横ばい)
						☀ (達成)

基本事業02 生活交通の充実

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	13.6	18.4	15.4	16.5	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度比3.0ポイント減少し向上した。 (原因) 市内タクシー事業者が2社から3社に回復し、利便性が向上した ことや循環バス利用者が増加していることが要因だと考えられ る。					☀ (向上)
						☀ (達成)

基本事業02 生活交通の充実

指標	市内を運行する路線バス及びコミュニティ自動車の路線数（本）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	19	25	25	23	☀ (向上)
評価	(状況) 前年と同水準となっている。（路線バス6本、コミュニティ自動車 17本、循環バス2本） (原因) 路線バス、コミュニティ自動車、循環バスすべてにおいて、現 状の路線数を維持することができている。					☁ (横ばい)
						☀ (達成)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 05 道路、河川・水路の整備と保全

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	幹線道路に満足している市民の割合 (%)	【道路課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
			83.5	82.9	81.8	83.5	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度82.9%から1.1ポイント減となり低下した。 (原因) 国道209号で歩道拡幅や交差点改良が進んでいない状況であり、 渋滞が軽減されていないことで満足度が低下したと考えられ る。						対 前年度 ☂ (低下)
							目 標 達 成 度 ■■■ (低)
指標 ②	生活道路に満足している市民の割合 (%)	【道路課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
			74.6	72.5	73.5	74.6	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度72.5%から1.0ポイント増加となり、昨年に引き続き向上 したが目標値は達成できなかった。 (原因) 目標値は達成できなかったが、直営班での道路パトロールによ る穴埋めなどの早期対応や側溝新設による雨水排水対策を実施 したことにより昨年度より指標が向上したと考えられる。						対 前年度 ☀ (向上)
							目 標 達 成 度 ■■■ (高)
指標 ③	河川・水路に満足している市民の割合 (%)	【水路課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
			77.3	81.7	84.6	80.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度81.7%から2.9ポイント増となり、向上した。 (原因) 令和7年度は大雨時の浸水被害軽減のための水路の先行 排水の取り組みや、緊急浚渫推進事業等の実施により大きな被 害が発生しなかったことから満足度が上がったものと考えられ る。						対 前年度 ☀ (向上)
							目 標 達 成 度 ■■■ (達成)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 幹線道路の整備促進

指標	幹線道路整備延長〈累計〉(km)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【道路課】	6.1	10.1	10.6	11.1	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度同様の0.5km/年となった。年間目標1.0km/年を下回った。 (原因) 県事業の大規模なバイパス整備が完了しているため、整備延長が鈍化しているが、目標値には近づいている。					☀ (向上)
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

基本事業02 生活道路の整備推進と維持管理

指標	生活道路改良・補修延長〈累計〉(km)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【道路課】	42.6	71.8	78.9	77.6	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度8.8km/年から1.7km減少の7.1km/年と低下したものの、年間目標7.0km/年を達成した。 (原因) 年間の整備目標は達成したが、交付金の減少等により進捗が遅れたため、前年度より整備延長が低下した。					☀ (向上)
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

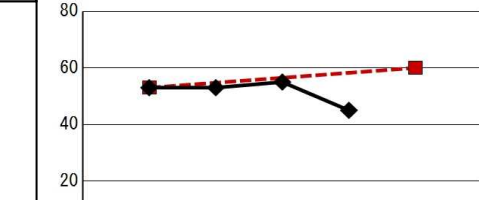
基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	河川・水路などの機能整備要望への対応率(%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【水路課】	75.3	80.3	81.1	75.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から0.8ポイント向上し、目標値を達成した。 (原因) 河川・水路に関する多種多様な要望に対し、地域と協議・協力しながら実施したため対応率の向上に繋がった。					☀ (向上)
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	浸水・冠水件数(件)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【水路課】	4	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度に引き続きR7年度は0件となった。 (原因) R7年度は渇水傾向であったものの、河川や水路の緊急浚渫事業の実施及び、積極的な先行排水の取り組みの効果により被害軽減が図られたと考えられる。					☀ (向上)
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	河川・水路等の工事件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値																														
	【水路課】	53	55	45	60	 (低下)																														
評価	（状況）前年度の55件に対し令和7年度は45件となり、10件減となった。 （原因）各事業において年次計画により施工しているが、前年度から減となった。	(件) <table><caption>工事件数推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値 (R03)</th><th>実績値 (R06)</th><th>実績値 (R07)</th><th>目標値 (R08)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>53</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R05</td><td></td><td>55</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R06</td><td></td><td></td><td>55</td><td></td></tr><tr><td>R07</td><td></td><td></td><td>45</td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td></td><td></td><td></td><td>60</td></tr></tbody></table>				年度	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	基準	53				R05		55			R06			55		R07			45		R08				60	対 前年度  (横ばい)
	年度	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)																															
基準	53																																			
R05		55																																		
R06			55																																	
R07			45																																	
R08				60																																
						目 標 達成度  (高)																														

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	河川・水路等の浚渫土量＜累計＞（m3）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値																														
	【水路課】	7,066	15,969	19,064	24,800	☀ (向上)																														
評価	（状況）本年度量3095m3、累計で19064m3となった。 （原因）緊急浚渫推進事業等により計画的に進めている。	(m3) <table><caption>浚渫土量推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値 (R03)</th><th>実績値 (R06)</th><th>実績値 (R07)</th><th>目標値 (R08)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>7,066</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R05</td><td></td><td>15,969</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R06</td><td></td><td></td><td>19,064</td><td></td></tr><tr><td>R07</td><td></td><td></td><td>19,064</td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td></td><td></td><td></td><td>24,800</td></tr></tbody></table>				年度	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	基準	7,066				R05		15,969			R06			19,064		R07			19,064		R08				24,800	☁ (横ばい)
	年度	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)																															
基準	7,066																																			
R05		15,969																																		
R06			19,064																																	
R07			19,064																																	
R08				24,800																																
						目 標 達成度																														
						■■■ (高)																														

政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01 環境保全と脱炭素社会の促進

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	市民1日1人当たりの家庭系ごみの排出量（資源除く）（g） 【かんきょう課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		493.5	459.1	462.6	472.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より3.5g増加(+0.8%)したが、R8年度の目標値472.0gは達成している。 (原因) 可燃7,649,070kg(+0.2%)。不燃粗大128,640kg(+7.6%)。R7年の消費支出は0.9%増だが、食料品等生活必需品の高騰は続いており、相関関係は不明であり、更なる分析が必要である。					☁ (横ばい)
						☀ (達成)
指標 ②	生活環境に関する苦情解決率（過去3年平均）（%） 【かんきょう課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		93.6	80.1	80.8	95.0	☔ (低下)
評価	(状況) R05 55件/83件66.3% R06 52件/56件92.9% R07 112件/132件84.8% 計 219件/271件80.8% (原因) R7はR6から低下した。過去3年平均は、R4（83.0%）がR7（84.8%）に置き換わり、上昇（0.7%）した。依然としてR5年度の低解決率（66.3%）が全体を押し下げている。					☁ (横ばい)
						☔ (低)
指標 ③	脱炭素社会のための環境にやさしい取組を行っている市民の割合（%） 【かんきょう課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		34.2	40.9	38.5	40.0	☔ (低下)
評価	(状況) 231人/600人=38.5%。昨年度より2.4%低下 (原因) 割合が低下した上位3項目：家族が同じ部屋で過ごし、冷暖房と照明を減らしている（△6.8%）、再生可能エネルギー（太陽光、風力等）を利用・購入している（△5.1%）、風呂の残り湯を洗濯や散水等に使用（△2.5%）					☔ (低下)
						☔ (高)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	減量化に関する実践項目数(7項目中) (項目)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	2.9	2.7	2.7	3.5	☂ (低下)
評価	(項目)					☂ (低下)
		(状況) 1614項目/600 (原因) 「詰替商品の積極購入」(+3.6%)等の割合が上昇。 「商品購入時に包装紙や袋をもらわない」(▲4.0%)等の割合 が減少。結果として、昨年から横ばいとなった。				☂ (低下)

基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	リユースを意識して行動している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	32.4	28.4	30.8	42.0	☂ (低下)
評価	(%)					☂ (低下)
		(状況) 185人/600人=30.83% (原因) 全5項目中、4項目で上昇。割合が向上した上位3項目: ■リサイクルショップの利用(買取も含む)(+4.1%) ■ その他で中古品等を譲渡、又は譲り受ける(+3.2%) ■その他 中古品の購入、又は売却(+2.8%)				☂ (低下)

基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	資源化(リサイクル)率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	12.2	11.4	11.3	12.7	☂ (低下)
評価	(%)					☂ (低下)
		(状況) 0.1%低下している。 (原因) 資源ごみの量が6.9t減少(▲0.7%)。資源を除くご みの量は1.7t増加(+0.2%)				☂ (低下)

基本事業02 脱炭素社会の促進

指標	脱炭素社会のため実効性の高い環境負荷低減に取り組んでいる事業者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	36.3	35.1	36.0	45.0	☂ (低下)
評価	(%)					☂ (低下)
		(状況) 36.0% (前年度比+0.9%) (原因) 上昇した上位3項目は、両面コピー・両面印刷の徹底(+10.6%)、 広告などの裏をメモ紙として使用(+8.5%)、節 水の推進(+8.4%)				☂ (低下)

基本事業03 生活環境の改善

指標	空地に関する苦情解決率（過去3年平均）（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	85.8	69.1	70.0	85.8	☂ (低下)
評価	(状況) R05 23件/40件57.5% R06 27件/35件77.1% R07 53件/72件73.6% 計 103件/147件70.0% (原因) R7単年度はR6から低下。過去3年平均は、R4 (72.4%) がR7 (73.6%) に置き換わり、上昇 (70.0%) した。依然としてR 5年度の低解決率 (57.5%) が全体を押し下げている。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 生活環境の改善

指標	ペット、野焼き、騒音、悪臭等に関する苦情件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	93	29	57	80	☀ (向上)
評価	(状況) ペット 6件 悪臭 6件 野焼き 18件 水質 8件 騒音 14件 その他 5件 合計 57件 (原因) 令和6年度と比較して、すべての項目において件数が増 加した。					対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業03 生活環境の改善

指標	一般廃棄物が不法投棄されている場所の数（箇所）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	23	26	20	21	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より23.0%減少 (原因) 通報件数の減少による。 周知や防犯により改善が見込まれるものが多い。上位3種：自転 車：8件（盗難含む）、廃家電：2件、びん：2件。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01 農業の振興

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	農業所得者の総所得金額（億円） 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		9.4	8.8	9.4	9.0	☀ (向上)
評 価	(状況) 令和7年度分の総所得金額は、前年比で107.5%と65,672千円増加した。 (原因) 主な要因としては、米の価格上昇等が影響したと思われる。	(億円) 				☀ (向上)
		目標達成度 				(達成)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の栽培面積（h a） 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		190.1	180.7	177.9	190.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年比で1.5%(2.7ha) 減少している。 (原因) イチゴ・トマト(大玉)・ナシ・花きの栽培面積減少が主な原因。 ナス・ブドウの栽培面積は増加している。	(h a) 				☂ (低下)
						■ (低)

基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の販売額（億円） 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		237.2	230.3	244.3	250.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年比で6.1%(約14億円) 販売額が増加した。 (原因) 花き以外の全ての品目(普通作、果樹、野菜、茶、畜産)で前年より販売額が増加しており、特に普通作(16.7%、約3億4千万円)、茶(46.3%、約10億円)が増加している。	(億円) 				☀ (向上)
						■■■ (高)

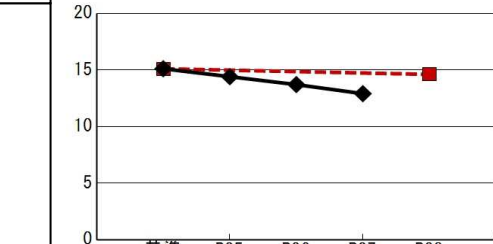
基本事業02 生産体制の維持

指標	担い手が経営している市内農地の集積率（%） 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		74.6	76.5	77.4	74.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比0.9%(約1.6ha) 増加している。 (原因) 認定農業者(農事組合法人含む)への農地集積が進展したことにより集積率が増加したもの。	(%) 				☀ (向上)
						🏰 (達成)

基本事業02 生産体制の維持

指標	新規就農者数(累計)（人） 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		27	50	58	52	☀ (向上)
評価	(状況) 令和7年度は8人の新規就農者を確保できた。 (原因) JA就農支援センター及び先進農家の協力など就農希望者を受入れる体制が確立されている。	(人) 				☀ (向上)
						🏰 (達成)

基本事業03 農用地と営農環境の保全

指標	遊休農地面積 (ha)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値												
	【農業委員会事務局】	15.1	13.7	12.9	14.6	 (向上)												
評価	(状況) R6の13.7haより減少した。 (原因) 農地転用(農地改良)及び適正管理指導(自宅訪問含)による減少分が新規発生面積を上回ったため。 ・解消面積: 22,349㎡ ・新規発生面積: 14,603㎡ 差し引き7,746㎡の解消	(ha)  <table><caption>遊休農地面積の推移 (ha)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値 (ha)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>15.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>13.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>12.9</td></tr><tr><td>R07</td><td>12.9</td></tr><tr><td>R08 (目標)</td><td>14.6</td></tr></tbody></table>				項目	値 (ha)	基準	15.1	R05	13.7	R06	12.9	R07	12.9	R08 (目標)	14.6	対前年度  (向上)
	項目	値 (ha)																
基準	15.1																	
R05	13.7																	
R06	12.9																	
R07	12.9																	
R08 (目標)	14.6																	
						目標達成度  (達成)												

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 02 地域に活力をもたらす産業・雇用の創出

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	市内事業所数（事業所）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	2,873	2,942	2,966	2,880	☀ (向上)
評価	(事業所)					☀ (向上)
	(状況) 昨年度より微増となった。法人均等割納税義務者の法人は30社増加だが、小規模個人事業者は6社減となった。 (原因) 投資額の増加は続いており、経済市場は拡大基調にある。しかし、物価や賃金上昇、労働力不足により小規模個人事業者は、事業継続に課題も多い状況にある。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

指標②	市内従業員数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	16,856	17,351	17,568	17,000	☀ (向上)
評価	(人)					☀ (向上)
	(状況) 前年度より向上、目標値も達成済みとなっている。 (原因) 定年延長や再任用などで労働者数も増加している。県南部の有効求人倍率は1.00(R8.3月時点)で、求人数の増減はあるものの、労働力不足感は続いている。また、事業所数の増もあって、従業員数は217人増加した。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業01 企業誘致・留置の推進

基本事業01 企業誘致・留置の推進

基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

30

基本事業03 創業・事業開発への支援

指標	創業・新規事業進出件数〈累計〉（件）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	20	40	57	40	☀ (向上)
評価	(状況) 目標値に達している (原因) コロナ禍を経て、創業機運が高まっている (R2 11件、R3 9件、R4 21件、R5 15件、R6 25件、R7 17件)。	(件)				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■ (達成)

基本事業04 雇用の安定と確保

指標	合同会社説明会・面談会来場者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	-	80	84	100	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度に引き続き、合同会社説明会を実施した。また労働者支援事務所と共催で労働相談会を開催した。 (原因) ハローワークの協力もあり、周知徹底を行い、求職者を昨年以上に集めることができた。来場数は増えたものの、目標値には届かなかった。	(人)				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■ (中)

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 03 観光の振興

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	観光入込客数（人） 【商工観光課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		521,000	840,700	925,568	1,080,000	☂ (低下)
評 価	(状況) 昨年度よりは大きく増加したが、目標値までには達していない。 (原因) コロナ禍より中止した行事が多く、コロナ禍前の観光入込客数までの回復は難しい状況にある。	(人) 				☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

基本事業01 観光情報の発信

基本事業01 観光情報の発信

基本事業02 魅力ある観光事業の推進

基本事業03 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

34

基本事業03 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	筑後船小屋駅周辺施設の入込客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	376,000	553,100	617,756	665,000	☀ (向上)
評価	（状況）目標値に対する達成率は前年より大きく増加した。（R6:83.1%→R7:92.9%） （原因）観光スポットにより増減はあるが、ホークスペースボールパーク筑後の観客数が伸びている（R6:90,087人→R7:152,174人）。	(人) 				対 前年度
						☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (中)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01 子育て支援の充実

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	子育てしやすい環境が整っていると思う保護者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値												
	【児童・保育課】	77.5	72.6	68.6	80.0	☂ (低下)												
評価	(状況) 前年度より4.0ポイント低下した。 (原因) 子育て世帯への支援策として様々な取組を行っており、一定の環境は整っていると思われるが、他自治体等との比較により不足しているとの意見も一定数存在する。	(%) <table><thead><tr><th>Year</th><th>Value (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>77.5</td></tr><tr><td>R05</td><td>72.6</td></tr><tr><td>R06</td><td>68.6</td></tr><tr><td>R07</td><td>68.6</td></tr><tr><td>R08</td><td>80.0</td></tr></tbody></table>				Year	Value (%)	基準	77.5	R05	72.6	R06	68.6	R07	68.6	R08	80.0	対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 ■■ (中)
	Year	Value (%)																
基準	77.5																	
R05	72.6																	
R06	68.6																	
R07	68.6																	
R08	80.0																	

指標②	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値												
	【こども家庭サポートセンター】	96.1	96.8	97.1	97.0	☀ (向上)												
評価	(状況) 前年度比0.3ポイント上昇し目標を達成している。 (原因) 待機児童がないことや広域公園があること、大きな災害がないこと、公共交通機関の整備なども影響していると考え	(%) <table><thead><tr><th>Year</th><th>Value (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>96.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>96.8</td></tr><tr><td>R06</td><td>97.1</td></tr><tr><td>R07</td><td>97.1</td></tr><tr><td>R08</td><td>97.0</td></tr></tbody></table>				Year	Value (%)	基準	96.1	R05	96.8	R06	97.1	R07	97.1	R08	97.0	対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 ■■■ (達成)
	Year	Value (%)																
基準	96.1																	
R05	96.8																	
R06	97.1																	
R07	97.1																	
R08	97.0																	

指標③	年間出生数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値												
	【企画調整課】	431	332	335	400	☂ (低下)												
評価	(状況) 4年連続で400人を割り込んだが、過去最低だったR6年度からは3名増加した (R4: 385人、R5: 360人、R6: 332人、R7: 335人) (原因) 全国的な傾向。婚姻数の減少、晩婚化、晩産化合計特殊出生率の低下	(人) <table><thead><tr><th>Year</th><th>Value (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>431</td></tr><tr><td>R05</td><td>332</td></tr><tr><td>R06</td><td>332</td></tr><tr><td>R07</td><td>335</td></tr><tr><td>R08</td><td>400</td></tr></tbody></table>				Year	Value (人)	基準	431	R05	332	R06	332	R07	335	R08	400	対前年度 ☁ (横ばい) 目標達成度 ■■ (低)
	Year	Value (人)																
基準	431																	
R05	332																	
R06	332																	
R07	335																	
R08	400																	

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 子どもの人権の尊重

指標	児童虐待件数〈新規実人数〉(件)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	5	13	7	-	(比較不可)
評価	(状況) 児童相談所に一時保護されたり、施設入所となった児童は7人であった。 (原因) 家出等により警察に保護されるケースもあった。	(件)				(比較不可)
						対 前年度
評価						(比較不可)
						目 標 達成度
評価						■■■
						(中)

基本事業02 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	保育所等の待機児童数(人)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【児童・保育課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 待機児童ゼロを維持した。 (原因) 私的待機(自己都合)はあるものの、受入枠の確保はできている。	(人)				対 前年度
						☀ (向上)
評価						目 標 達成度
						🏠 (達成)

基本事業02 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	学童保育所の待機児童数(人)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【児童・保育課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 待機児童ゼロを維持した。 (原因) 巡回型学童の活用等により、私的待機(自己都合)はあるものの、受入枠の確保はできている。	(人)				対 前年度
						☀ (向上)
評価						目 標 達成度
						🏠 (達成)

基本事業02 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	私立保育所等の障害児受入れ数(人)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【児童・保育課】	4	29	30	24	☀ (向上)
評価	(状況) 障害を持つ児童を30名受け入れることができた。 (原因) 令和4年度から令和5年度にかけて対象児童の見直しや補助の拡大を行い、対応する加配保育士を配置できるよう支援を行った。	(人)				対 前年度
						☀ (向上)
評価						目 標 達成度
						🏠 (達成)

基本事業03 切れ目ない支援による子育て不安の軽減

指標	子どもの発達過程を知っている保護者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	88.2	90.9	91.0	93.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より0.1ポイント上昇している。 (原因) 乳幼児健診や赤ちゃん訪問の際、心配や疑問に答えたり、発達段階の特徴や発達の促し方を伝えている。	(%)				☀ (向上)
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (中)

基本事業03 切れ目ない支援による子育て不安の軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	90.4	75.0	80.0	91.0	☔ (低下)
評価	(状況) 5.0ポイント上昇。こどもの年齢に比例して育てにくさを感じる回答が増えている。 (原因) 昨年度9月より乳幼児健診にて相談先のチラシの配布を開始していることが上昇の一要因と考えられる。	(%)				☀ (向上)
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業03 切れ目ない支援による子育て不安の軽減

指標	保護者1人当たりの、子育てについて相談できる相手、または相談できる機関の数（配偶者や親族を除く）（人（機関））	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	1.39	1.45	1.38	1.7	☁ (横ばい)
評価	(状況) 0.07ポイント低下。 (原因) 相談先の内訳を見ると、R6は「87」あった地域住民が「16」と少なくなっている。他はほぼ横ばい。近所づきあい等の希薄化の影響か。	(人（機関）)				☔ (低下)
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業04 子どもの健やかな成長の支援

指標	低出生体重児の出生率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	8.9	15.1	8.4	9.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比6.7ポイント減少した。 (原因) 多胎児が3組（前年度9組）1/3に減少したことが大きな要因と考える。予防可能な母のやせ、母の体重増加不良、高血圧な課題にさらに取組む必要がある。	(%)				☀ (向上)
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (達成)

基本事業04 子どもの健やかな成長の支援

指標	乳幼児健診で要精密検査となった者の受診率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	88.0	85.7	86.7	90.0	(横ばい)
評価	(状況) 1ポイント上昇した。未受診者の6名中、3名が3歳児健診での屈折検査で要精検となった者である。 (原因) 眼科の予約の取りづらさ、保護者の必要性の認識等の影響があると考えている。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						(中)

基本事業05 家族形成の支援

指標	若年層有配偶者率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	51.0	49.1	48.2	51.0	(低下)
評価	(状況) 前年度から0.9ポイント減少 (R5:50.1、R6:49.1、R7:48.2) (原因) コロナ禍前後で、当時適齢期であった者の有配偶率が低下した。また、実質賃金の伸び悩みが継続していることも、若年層において有配偶者率の減少が続く原因と考えられる。					対 前年度
						(低下)
						目 標 達成度
						(低)

基本事業06 ひとり親家庭等の自立支援の推進

指標	ひとり親家庭等の自立支援推進事業の利用者数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	7	6	10	12	(向上)
評価	(状況) 前年度からの継続 4 件、新規は前年より 3 件増加し 6 件となった。 (原因) 物価高騰が続き、就業のための資格取得のニーズは高まっている可能性がある。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達成度
						(中)

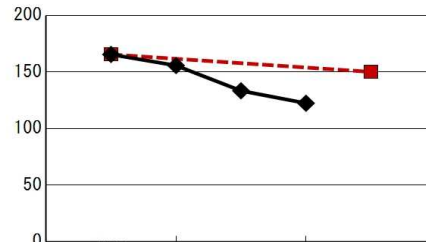
政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 02 健康づくりの推進

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	15歳から64歳までの死亡者数（人口10万人当たり） （人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値												
	【健康づくり課】	154.8	120.2	135.1	129.4	☀ (向上)												
評 価	[分析] 前年度比: +14.9人(実数: +4人)。脳血管・心疾患によるものは+28.5人(実数: +8人)。 [評価] 実数が一桁の変動のため、一過性のブレの可能性あり。 しかし、軽視は禁物。	(人) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>154.8</td></tr><tr><td>R05</td><td>140.0</td></tr><tr><td>R06</td><td>120.2</td></tr><tr><td>R07</td><td>135.1</td></tr><tr><td>R08</td><td>129.4</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	154.8	R05	140.0	R06	120.2	R07	135.1	R08	129.4	対 前年度
						項目	値											
						基準	154.8											
						R05	140.0											
R06	120.2																	
R07	135.1																	
R08	129.4																	
☂ (低下)																		
目 標 達 成 度																		
■■ (中)																		

指標②	75歳未満の三大死因の死亡者数（人口10万人当たり）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	165.4	133.3	122.3	150.0	 (向上)
評価	[分析] 全体は122.3人に低下(実数:▲5人)。しかし内訳は、脳血管・心疾患が実数で+9人。がんが▲14人(実数)減少。 [評価] がん死亡の減少により全体が改善した点は評価。しかし、75歳未満の現役世代で脳血管・心疾患が急増している点是要警戒。	(人) 				対 前年度
						 (向上)
						目 標 達成度
						 (達成)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活習慣の改善

指標	1人当たりの健康づくり取組項目数(11項目中) (項目)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	4.1	4.3	4.3	5.8	☀ (向上)
評価	(項目)					☀ (向上)
	[分析]指標値は前年度と同水準。基準値は上回っているが、目標値には達していない。「塩分を控える」が5.7p、「お酒を飲まない」が4.5pの増。一方、「適正な体重を維持する」は5.7p減。 [評価]健康イベント等において血圧の自己測定を継続的に推奨してきた成果か。					☁ (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)

基本事業01 生活習慣の改善

指標	糖尿病性腎症における新規透析導入者数(人口10万人当たり) (人)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	12.2	8.17	22.56	11.0	☔ (低下)
評価	(人)					☔ (低下) 目標達成度 ■■ (低)
	(状況) 実人数は11人と大きく増加している。 (原因) 後期高齢者世代の導入が6人と半数以上を占め、増加が顕著。医療の進歩による影響も考えらる。					☔ (低下) 目標達成度 ■■ (低)

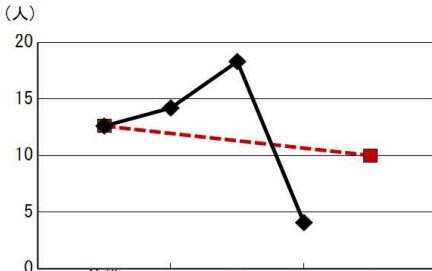
基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	特定健康診査受診率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	39.6	40.6	40.7	60.0	☁ (横ばい)
評価	(%)					☁ (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)
	(状況) 受診率は昨年度と同程度で推移している。確定値も前年度(41.2%)と同程度となる見込み。(R8.10月確定) (原因) 受診者数は、集団検診は前年度並み、施設検診の受診者数は昨年に引き続き減少。母数となる対象者(国保加入者)数も年々減少し、結果、受診率は維持するも伸び悩んでいる。					☁ (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)

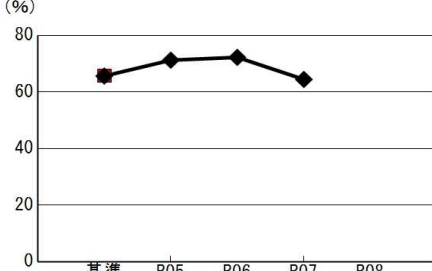
基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	1年に1回がん検診を受けている市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	37.5	36.5	42.0	50.0	☀ (向上)
評価	(%)					☀ (向上) 目標達成度 ■■ (中)
	(状況) 市民アンケートでは、前年度より5.5p向上している。 (原因) 男女別でみると前年度比男性が9.4p、女性が2.9p増となっている。年代別では全体的に上昇している。特に20～39歳が12.1p増となっている。					☀ (向上) 目標達成度 ■■ (中)

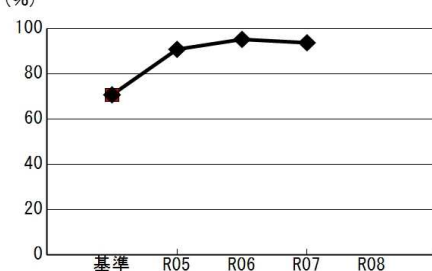
基本事業03 こころの健康づくりの推進

指標	自殺者数（人口10万人当たり）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	12.6	18.3	4.07	10.0	☀ (向上)
評価	(状況) 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より自殺者数は2人、自殺死亡率は4.07と、去年より減少している。国(15.3)や県(15.88)と比べても低い数値となっている。 (原因) 直接の原因は不明である。年度により増減を繰り返しているため、対策を継続していく。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)
		(人)				

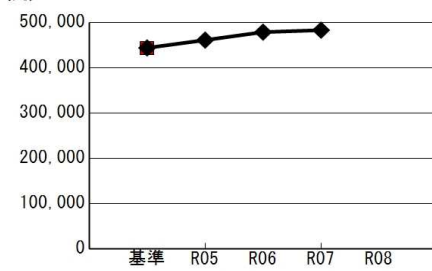
基本事業04 地域医療連携の推進

指標	紹介率（%）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	65.6	72.2	64.4	50.0以上	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より7.8P減少。 (原因) 令和7年度の初診患者数は前年度より117人減となったものの、これは医療需要の低下ではなく、受診要件の緩和（紹介状不要化）による制度変更の影響が相対的に紹介率を押し下げている。					対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 🏰 (達成)
		（%）				

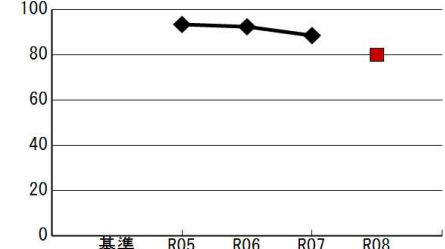
基本事業04 地域医療連携の推進

指標	逆紹介率（%）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	70.6	95.1	93.6	70.0以上	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から1.5P低下するも目標値を大きく（23.6P）超えている。 (原因) 逆紹介率は母数の初診算定患者数が増加（+31人）しているなかの微減（▲1.5P）であって、概ね高水準を維持していると評価できる。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 🏰 (達成)
		（%）				

基本事業05 国民健康保険財政の持続運用

指標	国民健康保険1人当たり医療費 ＜年額＞（円）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市民課】	443,447	478,314	482,609	—	☔ (低下)
評価	基準値（R3）443,447円より増加し、前年度比においても増加している。 被保険者の高齢化や医療技術と医薬品の進歩などが増加の背景にあると考えられる。					対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ---
		（円）				

基本事業06 感染症対策の推進

指標	感染対策を実施している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	-	92.3	88.4	80.0	
評価	（状況）去年に比べ、3.9ポイント低下しているものの、88.4%と高い数値を維持できている。 （原因）新型コロナウイルス感染症の経験から、市民の感染症予防に対する意識は保たれていると考えられる。	(%) 				対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達成度  (達成)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 03 高齢者福祉の充実

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	要介護等認定を受けていない65～74歳の市民の割合 (%) 【高齢者支援課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		96.7	96.6	96.6	97.0	(横ばい)
評価	(状況) R6年度と変わらず96.6%であった。 (原因) 65-74歳の認定者数はR6年度と同じ人数であったが被保険者数は減少傾向である。R7年度は前年度より、要支援1・2の認定者が1.2ポイント減り、要介護1～5が0.8ポイント増加した。					対 前年度 (横ばい)
						目 標 達成度 (低)
指標 ②	要介護等認定を受けていない75～84歳の市民の割合 (%) 【高齢者支援課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		84.5	85.2	85.3	85.0	(向上)
評価	(状況) R6年度より0.1ポイント増加し、今年度も目標値を上回った。 (原因) 75-84歳の認定者数は前年度より増加したが、年代別被保険者数自体の増加率が上回っているため、認定を受けていない割合としては0.1ポイント増加となった。要支援1・2は減少、要介護1～5の認定者が増加傾向である。					対 前年度 (横ばい)
						目 標 達成度 (達成)
指標 ③	生きがいを持っている高齢者の割合 (%) 【高齢者支援課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		81.3	85.0	83.8	84.0	(向上)
評価	(状況) 昨年度より1.2ポイント低下した。基準値と比べると2.5ポイント高いが、目標値より0.2ポイント下回っている。 (原因) 前期高齢者は前年度より3.9ポイント低下の82.7%、後期高齢者は1.5ポイント向上の84.7%となっており、全体として1.2ポイント低下の83.8%であった。					対 前年度 (低下)
						目 標 達成度 (高)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生きがいがつくりと介護予防の推進

指標	新規認定者の平均年齢 (歳)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	82.4	82.1	82.4	83.0	(横ばい)
評価	(状況) 平均年齢が82.4歳で前年度より0.3歳上がった。 (原因) 新規認定者のうち65歳以上では83.0歳から83.2歳に上がった。年代別で全体に占める割合は80代が最も多く51.5%であった。R7年度は第2号が前年度より増加しており、主な疾病は脳血管疾患、末期がんであった。					(横ばい)
						目 標 達成度 (低)

基本事業01 生きがいがつくりと介護予防の推進

指標	65歳以上の要介護等認定者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	16.9	17.6	17.8	16.9	(低下)
評価	(状況) 17.8%で前年度より0.2ポイント増加、目標値を0.9ポイント上回っている。 (原因) 対前年度で65歳以上の要介護等認定者は1.4% (34人) 増加し、第1号被保険者は0.5% (72人) 増加した。被保険者の増加率を認定者の増加率が上回ったことから、65歳以上の認定者の割合は増加している。					(低下)
						目 標 達成度 (中)

基本事業02 相談体制の充実と権利擁護

指標	相談先がある高齢者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【地域包括支援センター】	82.7	83.8	83.3	86.0	(向上)
評価	(状況) 前年度から0.5ポイント減少、基準値から0.6ポイント増加。 (原因) 市公式LINEや出前講座等で地域包括支援センターの機能や役割を十分周知できなかったことが、前年度を下回った要因の一つであるとする。					(低下)
						目 標 達成度 (高)

基本事業02 相談体制の充実と権利擁護

指標	高齢者の権利が損なわれた件数 (虐待・権利) (件)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【地域包括支援センター】	11	16	25	-	(低下)
評価	(状況) 虐待認定件数は前年度より9件、基準値より14件増加。相談件数は、前年度より14件増加し、33件。 (原因) 虐待種別は多い順に、身体、心理、経済、ネグレクト。これまでケアマネジャーからの通報が最も多かったが、今年度は警察からの通報が最も多く12件 (前年度2件)。					(低下)
						目 標 達成度 (---)

基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	介護予防・生活支援サービスの利用登録者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	161	141	133	185	☂ (低下)
評価	(状況) 利用登録者数は前年度比8人減少の133人となっている。 (原因) 前年度と比べると、生きがいデイの登録者は2人減、シルバーお助けの登録者は6人減となっている。どちらのサービスも新規より廃止が多く、廃止理由は介護事業所サービスに移行するものが多く見られ、身体状況の悪化によるものと思われる。					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (中)

基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	日常生活支援サービスを行う団体数（団体）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【地域包括支援センター】	9	13	15	14	☀ (向上)
評価	(状況) 地域の支え合い活動が2団体増加した。 (原因) 令和6年度に行政区長会等の場で地域における支え合い活動の現状・効果について積極的なPRを実施。その後、関心を示した地域に対し、生活支援コーディネーターが丁寧な個別支援を行ったことが新規団体の設立を促進する要因となったと考える。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (達成)

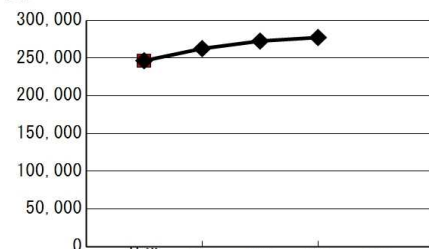
基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	要介護認定者（要介護1～5）のうち、在宅サービスを利用している者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	70.6	67.7	68.1	74.1	☂ (低下)
評価	(状況) 基準値比△2.5P、前年度比+0.4P (原因) 認定者数は前年比+1.5%に対し、在宅サービス利用者は+2.4%、地域密着型サービス利用者は+0.9%。施設利用者は+1.2%となっている。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

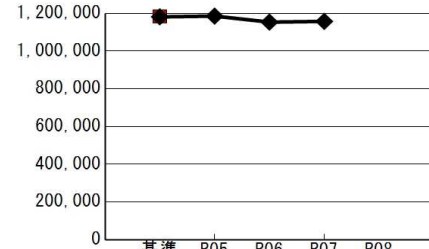
基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	地域密着型事業所の利用定員数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	217	167	158	264	☂ (低下)
評価	(状況) 小多機、看多機、GHの公募を行ったところGH11ユニットの応募があった。また、GHの休止、廃止、開始がそれぞれ1事業所、年度末時点で基準値△59名、前年度比△9名となる。 (原因) GHのそみが2月末で休止（△9名） GH野の花（野いちご）が廃止、同時に櫛吉兆がGH野の花を開始（±0名）					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 保険制度の持続運用

指標	介護保険1人当たりの給付額<年額> (円)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	246,480	272,488	277,176	-	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度と比較し、4,688円増加した。一人当たりの給付費については、年々増加している。 (原因) 被保険者増、認定者増により給付費全体の金額は伸び続けている。介護報酬などの改定などにより、一人当たりの給付費についても増加している。	(円) 				対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達 成 度 (---)

基本事業05 保険制度の持続運用

指標	後期高齢者1人当たりの医療費(年額) (円)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市民課】	1,181,182	1,153,233	1,157,024	-	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和7年度実績値は前年度比0.33%増、3,791円増加した。 (原因) 被保険者数の増、医療の高度化など複数の要因が影響している。	(円) 				対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 (---)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 04 障害者（児）福祉の充実

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	障害福祉サービスの実利用者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値																														
	【福祉課】	694	857	939	910	☀ (向上)																														
評価	（状況）対前年度9.6%増。対基準値35.3%増となっており、障害児については対前年度16.8%増となっている。 （原因）サービス利用需要は高く、特に障害児サービスについては、新規開設時の利用枠がすぐに埋まるほど高い需要がある。	(人) <table><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値 (R03)</td><td>694</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値 (R06)</td><td></td><td>857</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値 (R07)</td><td></td><td></td><td>939</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値 (R08)</td><td></td><td></td><td></td><td>910</td><td></td></tr></tbody></table>				年度	基準	R05	R06	R07	R08	基準値 (R03)	694					実績値 (R06)		857				実績値 (R07)			939			目標値 (R08)				910		対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 ☀ (達成)
	年度	基準	R05	R06	R07	R08																														
基準値 (R03)	694																																			
実績値 (R06)		857																																		
実績値 (R07)			939																																	
目標値 (R08)				910																																

指標②	移動を伴う障害福祉サービス延べ利用者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値																														
	【福祉課】	537	634	685	720	☀ (向上)																														
評価	（状況）対前年度8%増、対基準値27.6%増 （原因）増加要因は移動支援事業の利用増。通院等の日常生活での外出や社会参加の増加に伴う利用増もあるが、本人及び介助者の高齢化に伴い支援を必要とする人が増えていることも考えられる。	(人) <table><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値 (R03)</td><td>537</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値 (R06)</td><td></td><td>634</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値 (R07)</td><td></td><td></td><td>685</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値 (R08)</td><td></td><td></td><td></td><td>720</td><td></td></tr></tbody></table>				年度	基準	R05	R06	R07	R08	基準値 (R03)	537					実績値 (R06)		634				実績値 (R07)			685			目標値 (R08)				720		対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 ☀ (高)
	年度	基準	R05	R06	R07	R08																														
基準値 (R03)	537																																			
実績値 (R06)		634																																		
実績値 (R07)			685																																	
目標値 (R08)				720																																

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 障害福祉サービスの推進

指標	障害福祉サービスの推進 介護給付（在宅サービス）・訓練等給付・障害児通所支援の自立支援 給付利用件数〈延べ数〉（件） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		11,672	15,548	16,846	14,330	☀ (向上)
評価	（状況）障害者サービスは居宅介護と就労継続支援B型が微増、共同生活援助と短期入所が増加となった一方で生活介護が減少した。 障害児サービスはいずれのサービスも大きく増加している。 （原因）者については、入所系サービスの需要が増加している。介助者の介護力低下が要因の一つと考えられる。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 地域生活支援サービスの推進

指標	地域生活支援事業の利用件数〈延べ数〉（件） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		14,679	14,392	15,406	15,750	☀ (向上)
評価	（状況）相談事業は例年並み、日常生活用具給付と移動支援が増加 （原因）在宅生活維持のためのサービス利用が伸びている。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (中)

基本事業03 障害者（児）の人権擁護

指標	障害者（児）の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		0	1	4	-	(比較不可)
評価	（状況）4件の虐待認定を行った。 （原因）養護者による虐待が2件、事業所職員による虐待が2件。養護者による虐待は、いずれも経済的要因が絡んで適切な介護を受けさせていないものだった。事業所職員による虐待は、いずれも権利擁護への意識の低さから発生したものだった。					対 前年度 (比較不可)
						目 標 達成度 (---)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 05 セーフティネットの推進

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	生活保護に関する相談件数（過去3年平均）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値												
	【福祉課】	188	221	237	188	☀ (向上)												
評価	【状況】3年平均としては、前年度から16件増加した。実績としては増加傾向にある。	(件) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>188</td></tr><tr><td>R05</td><td>204</td></tr><tr><td>R06</td><td>221</td></tr><tr><td>R07</td><td>237</td></tr><tr><td>R08</td><td>188</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	188	R05	204	R06	221	R07	237	R08	188	対 前年度 ☀ (向上)
	項目					値												
基準	188																	
R05	204																	
R06	221																	
R07	237																	
R08	188																	
	【原因】社会全体の物価高騰が続く状況の中で、境界層にいた者が生活継続困難となって生活保護相談の増加に繋がった、と推測する。	目標達成度 ☀ (達成)																

指標②	生活困窮に関する相談件数（過去3年平均）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値												
	【福祉課】	111	21	19	111	☂ (低下)												
評価	【状況】3年平均としては、前年度から2件減少した。	(件) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>111</td></tr><tr><td>R05</td><td>48</td></tr><tr><td>R06</td><td>21</td></tr><tr><td>R07</td><td>19</td></tr><tr><td>R08</td><td>111</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	111	R05	48	R06	21	R07	19	R08	111	対 前年度 ☂ (低下)
	項目					値												
基準	111																	
R05	48																	
R06	21																	
R07	19																	
R08	111																	
	【原因】生活保護の相談が増加しており、その反動で生活困窮に関する相談が減少したのでは、と推測している。	目標達成度 ☂ (低)																

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	「自立支援プラン」を作成した生活困窮世帯のうち、自立（就労）につながった世帯の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		53.1	80.0	66.7	85.0	☀ (向上)
評価	【状況】対前年度13.3ポイント低下した。 【原因】自立支援プラン作成件数が、前年度の5件から6件に増加したものの、うち4件が就労自立し、1件は年度末での支援開始のため、現在支援継続中である。また1件は本人からの支援拒否により終了。	(％) 				☀ 対 前年度
						☂ (低下) 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	生活保護で生活が守られている世帯数（世帯） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		199	234	234	-	(比較不可)
評価	【状況】前年度から増減なし。生活保護受給世帯数は月では最小値227世帯、最大値239世帯で年度末にかけて減少傾向にあった。 【原因】世帯類型では高齢者世帯や障害者世帯の増加が見られ、市内の高齢者施設への入所や親族からの支援困難などにより生活保護となっているケースが多い。	(世帯) 				☀ 対 前年度
						(比較不可) 目 標 達 成 度 (---)

基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅入居率（％） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		91.6	100	100	94.0	☀ (向上)
評価	【状況】空き家募集できる住戸がないため入居率100% 【原因】玄ヶ野・高銭野団地集約建替事業に伴う移転のために空き家を確保する必要がある。久富、鶴田、井田、常用団地を政策空き家とする。	(％) 				☀ 対 前年度
						☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■■ (中)

基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅管理戸数（戸） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		489	489	489	446	☁ (横ばい)
評価	【状況】住宅管理戸数に増減なし。 【原因】玄ヶ野団地建替事業はR7～R12に実施予定のため、実績値変更なし。	(戸) 				☀ 対 前年度
						☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■■ (中)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 06 地域福祉の推進

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	地域で助け合い、支え合いができていると思う市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	37.7	40.2	39.7	50.0	☀ (向上)
評価	(状況) 全体では、前年度から0.5pt減少した。「できている」が1.2pt増加し、「できている方である」が1.7pt減少している状況 (原因) 地域活動の担い手不足や地域とのつながりの希薄化などが考えられる。	(％) 				☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

指標②	地域の福祉活動で支え合いができていると思う民生委員の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	76.8	87.0	77.8	80.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 回答者56名のうち、「思わない」1名、「あまり思わない」11名、「やや思う」31名、「思う」11名であった。 (原因) 前年度から9.2pt減少しており、地域での担い手不足などの要因があると考ええる。	(％) 				☔ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	地域福祉活動に参加している市民の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		6.0	6.1	7.4	10.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比1.3pt増。 (原因) 地域活動の中で、福祉活動にサービス提供側として参加している人、その他の行事や活動への参加についても微増となっている。前年同様「特になし」の割合が34.1%となっている。	(％) 				対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 福祉サービスにつながる体制・仕組みづくり

指標	民生委員・児童委員の年間相談件数（件） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		3,531	2,837	2,828	3,570	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度から9件減少。 (原因) 前年度との相談件数の推移は、高齢者199件減少、子ども57件増加、障害者116件増加、大きな要因はなく高齢者に関する相談が大きく減少したことと考える。	(件) 				対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 福祉サービスにつながる体制・仕組みづくり

指標	民生委員の活動の中で、行政や社協、支援事業所等との連携ができてい则认为る民生委員の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		84.9	98.5	87.3	90.0	☀ (向上)
評価	(状況) 回答者56名のうち、未回答者1名、「思わない」0名、「あまり思わない」7名、「やや思う」34名、「思う」14名。 (原因) 回答者が減少していることも大きく影響していると考ええる。	(％) 				対前年度 ☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01 学校教育の充実

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	将来の夢や目標を持っている小学6年生の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		85.9	82.6	81.5	83.0以上	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度より1.1ポイント低下した。 (原因) 小学6年生になると現実的な制約を強く意識するようになり、将来の夢や目標を持っていないとの回答するケースが増えるのではないかと。	(%) 基準 R05 R06 R07 R08				☁ (横ばい)
						☂ (低下)
指標 ②	将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		65.2	61.7	65.4	72.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より3.7ポイント上昇した。 (原因) 地域人材による授業により、多様な生き方や職業観に触れる機会が増えたことや、端末を活用した調べ学習により、興味のある職業や進路について能動的に情報を集めていることなどの原因が考えられる。	(%) 基準 R05 R06 R07 R08				☀ (向上)
						☂ (横ばい)
指標 ③	学校教育（小・中学校）に満足している保護者の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		70.7	70.5	69.3	80.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より1.2ポイント低下した。 (原因) 自由記述欄から推測すると、昨今の教職員不足に関連する様々な事柄に不満があるようである。	(%) 基準 R05 R06 R07 R08				☁ (横ばい)
						☂ (低下)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の向上

指標	小学6年生の国語、算数（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数 (pt) 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		103.9	100.6	103.4	103.0	(横ばい)
評価	(状況) 昨年度より2.8ポイント上昇した。 (原因) 各学校の学力向上プランの取組の推進やICT機器の活用を通じた授業改善などが考えられる。					対 前年度 (向上)
						目 標 達成度 (達成)

基本事業01 確かな学力の向上

指標	中学3年生の国語、数学（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数 (pt) 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		100.3	97.6	95.4	100.0以上	(低下)
評価	(状況) 昨年度より2.2ポイント低下した。 (原因) SNSや動画サイトの接触時間の増加に伴う読書の減少が、長文読解力や記述・論理的思考力の定着を阻害したことが原因の一つと考える。					対 前年度 (低下)
						目 標 達成度 (高)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う小学6年生の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		84.8	81.5	85.7	85.0	(横ばい)
評価	(状況) 昨年度より4.2ポイント上昇した。 (原因) 小学校における人権教育や道徳教育を通じた規範意識の向上が原因の一つと考えられる。					対 前年度 (向上)
						目 標 達成度 (達成)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている小学6年生の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		94.9	92.1	91.7	95.0	(低下)
評価	(状況) 昨年度より0.4ポイント低下した。 (原因) 睡眠不足が、朝の食欲不振や時間的余裕の欠如を招き、結果として朝食の欠食につながっていると考えられる。					対 前年度 (横ばい)
						目 標 達成度 (高)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う中学3年生の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	86.7	76.6	74.4	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度より2.2ポイント低下した。 (原因) 学校教育全般を通して生徒の規範意識の向上、生命や人権を大切にする指導を行なっているが、そのことが十分な成果に結びついていないと考えられる。					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達 成 度 ■■■ (高)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている中学3年生の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	92.1	89.4	90.5	93.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より1.1ポイント上昇した。(原因) 数値は改善した。ただし、睡眠不足が、朝の食欲不振や時間的余裕の欠如を招き、結果として朝食の欠食につながっていると考えられる。					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ■■■ (高)

基本事業03 健やかな体の育成

指標	小学5年生の体力・運動能力調査の平均点の指数 (pt)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	98.2	100.3	100.6	100.0以上	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より0.3ポイント上昇した。(原因) スポコン広場への参加や若年教員の体育指導に対する指導主事の支援等が功を奏していると思われる。					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ☀ (達成)

基本事業03 健やかな体の育成

指標	中学2年生の体力・運動能力調査の平均点の指数 (pt)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	101.5	104.9	107.2	102.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より2.3ポイント上昇している。 (原因) 運動が好きな生徒が全国・県平均を上回っていることが影響していると思われる。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ☀ (達成)

基本事業04 小中連携・地域連携の推進

指標	学校関係者評価において、学校と地域との連携がとれていると認められた学校（小学校）の割合（％） 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		77.3	90.9	100	100.0	☀ (向上)
評価	(状況) 実績は100であり、目標を達成している。 (原因) 指摘に対し真摯に向き合い、取組みの見直し・強化を図ったものとみられる。	(％) 				対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (達成)

基本事業04 小中連携・地域連携の推進

指標	1,000人当たり不登校生徒の出現率（全国平均100とした場合）（過去3年平均）（pt） 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		93.0	119.7	10月以降	100.0以下	(---)
評価	(状況) (原因)	(pt) 				対前年度 (---)
						目標達成度 (---)

基本事業05 教育環境の充実

指標	長寿命化計画事業の着手率（％） 【教育総務課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		25.0	75.0	80.8	88.5	☀ (向上)
評価	(状況) 筑後小の校舎照明のLED化を行った。 (原因) 計画どおりだが、リース事業に変更して行った。	(％) 				対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (高)

基本事業05 教育環境の充実

指標	老朽化空調設備の更新率（％） 【教育総務課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		17.8	66.7	73.3	68.9	☀ (向上)
評価	(状況) 筑後北図書室・パソコン室、水洗小図書室・保健室の空調機の更新を行った。 (原因) 古島小空調機移設及び故障等により計画を変更し行った。	(％) 				対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (達成)

基本事業05 教育環境の充実

指標	小中学校門扉の設置校数（校数） 【教育総務課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		4	10	11	12	☀ (向上)
評価	(状況) 筑後南小学校に門扉設置が完了した。 (原因) 計画どおりに実行できた。	(校数) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業05 教育環境の充実

指標	施設設備営繕要望の対応率（%） 【教育総務課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		96.6	98.7	98.7	98.0以上	☀ (向上)
評価	(状況) 学校再編により依頼件数は減ったが大規模な営繕が増加し対応を行っている。 (原因) 速やかな状況把握により実施している。	(%) 				対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 02 生涯学習・スポーツの推進

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	生涯学習活動を行っている市民の割合 (%)	【社会教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
			64.9	71.35	70.03	70.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より若干減少したが目標値に達している。 (原因)						対 前年度
							☂ (低下)
							目 標 達成度
							🏠 (達成)

指標②	学習効果を家庭・地域に活かしている市民の割合 (%)	【社会教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
			33.8	31.09	34.47	35.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より増加した。 (原因)						対 前年度
							☀ (向上)
							目 標 達成度
							■■■ (高)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生涯学習の推進

指標	生涯学習の機会に満足している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	11.4	14.73	12.72	17.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度と比較し、若干低下した。 (原因) 市民アンケートで、「満足」23人・「やや満足」42人と回答。(R6年「満足」34人・「やや満足」42人) 昨年より「満足」と回答した人が減少している。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	社会教育施設の年間利用者数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	110,842	181,096	189,531	240,000	☀ (向上)
評価	(状況) サザンクス筑後 94,737人 中央公民館(サコア) 42,950人 北部交流センター(チクロス) 51,844人 前年度に比べ、サザンクスは5%増、チクロスは10%増、サコアは2%減となっている。 (原因) サコアについては、利用者の多くが高齢者層の団体であり、団体内の参加者が年々減少している。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	協働活動サポーター登録者数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	168	372	484	220	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度よりも増加した。 (原因) 地域学校協働活動事業に令和7年度から中学校3校が加わり、市内小・中学校全校で取組みが行われたため					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	図書館を利用している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	26.6	26.4	25.8	30.0	☀ (低下)
評価	(状況) 令和8年3月31日現在 人口 48,741人 市民登録者 12,580人 前年度比0.6%減 (原因) 図書館イベント情報の随時発信していることで、イベント参加者は多いものの、新規登録者の増加には結びついていない。					☀ (低下)
						☀ (低下)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	週に1回以上、運動・スポーツをしている市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	52.0	51.9	51.5	50.0以上	(横ばい)
評価	(状況) 前年度からの変化はほとんどないが、変わらず目標値は達成している。ほぼ毎日スポーツをしている割合は、前年から2.3ポイント上昇した。 (原因) 競技スポーツはもとより、健康維持・増進のための軽運動などに取り組む市民が増えている可能性がある。					(横ばい)
						目標達成度 (達成)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	競技会場に行ってスポーツを見る市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	19.2	28.8	27.4	40.0	(低下)
評価	(状況) 前年度から減少している (原因) 異常気象(特に夏季)の影響により、試合観戦などに対する環境が悪化している。					(低下)
						目標達成度 (高)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	1年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	6.4	11.0	9.5	8.0	(横ばい)
評価	(状況) 前年度から微減であるが、昨年度に続き目標を達成している。 (原因) 競技の運営スタッフや、選手保護者等による運営ボランティア活動が継続されたのではないかとされる。					(低下)
						目標達成度 (達成)

基本事業03 文化財の保護と活用

指標	指定文化財のき損・滅失・亡失・盗難件数 (件)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	2	0	0	0	(向上)
評価	(状況・原因) ・R7年度のき損・滅失・亡失・盗難件数は0件であった。					(向上)
						目標達成度 (達成)

基本事業03 文化財の保護と活用

指標	市民が活用した無形指定文化財等の件数（件） 【社会教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		5	12	20	5	☀ (向上)
評価	(状況) ①水田千燈明、稚児風流、盆綱曳き、修正会、溝口千燈明、②欠塚古墳天体観望、平和事業、ナイトミュージアム、さげもん、夏休み子ども工作教室③小さな博物館6回、郷土資料館特別展等4回 合計20件	(件) 				対 前年度
						☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (中)

基本事業04 青少年教育・体験活動の推進

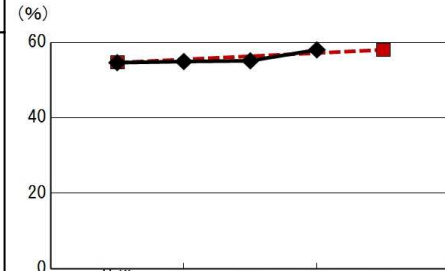
指標	青少年体験活動に満足している参加者の割合（%） 【社会教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		92.8	90.4	93.8	90.0以上	☀ (向上)
評価	(状況) サマーキャンプ、中高生ボランティアちっこ塾で大きく目標を上回った。 (原因) サマーキャンプでは、みんなで励ましあいながら行った沢登り体験で達成感を得られたこと等普段出来ない体験をできたこと。ちっこ塾では、救命救急講習、二十歳の祭典ボランティアが好評だった。	(%) 				対 前年度
						☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 03 男女共同参画社会の推進

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	男女が平等だと思う市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【男女共同参画推進室】	54.6	55.1	58.0	58.0	(横ばい)
評価	(状況) 昨年との比較 学校73.8%⇒77.8% 職場44.9%⇒48.8% 家庭53.6%⇒56.6% 地域47.9%⇒48.7%	(％) 				対 前年度
						(向上) 目標達成度 (達成)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 男女共同参画社会実現に向けた市民や市内企業への啓発

指標	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識に反対する市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		48.4	63.1	58.7	55.0	☀ (向上)
評価	(状況) 低下 (原因) 物価高騰が続くなど先行き不透明感が増す中、「男は仕事、女は家庭を守ることで生活を安定させたい」というリスク回避の意識が若年層を含めて一部で強まっているのではないかと推察する。					☀ (向上)
						☔ (低下)
						目標達成度 ☀ (達成)

基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	審議会・委員会の女性登用率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		32.8	33.5	35.8	35.0	☀ (向上)
評価	(状況) 向上 (原因) R4:32.1%、R5:32.7%、R6:35.6%、R7:39.1% 過去3年の平均値になるため、35.8%となり、目標値を達成。男性比率が高い審議会が任期外だったことともあるが、関係部署への地道な働きかけが改善につながっている。					☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (達成)

基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	区長・公民館長・地域役員の女性登用率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		-	22.9	20.1	23.0	☔ (低下)
評価	(状況) 低下 女性区長(R6:2/75人⇒R7:1/75人) 女性公民館長(R6:6/73人⇒R7:11/75人) 女性地域役員(R6:209/912⇒R7:204/924人) (原因) 区長と地域役員の女性登用は進んでいないが、女性公民館長は増加している。地道な活動が必要。					☔ (低下)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業03 男女に関する人権保護と相談体制の充実

指標	男女の人権に関する通知・連携件数 (件)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		2	0	0	-	(比較不可)
評価	(状況) DVによる県との連携は0件 (原因)					(比較不可)
						目標達成度 (---)

基本事業04 ジェンダー平等の視点を反映した施策の推進

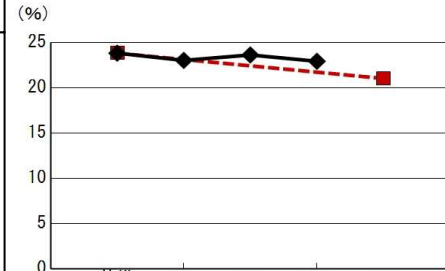
指標	ジェンダー平等の視点が事業に反映していると思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【男女共同参画推進室】	66.3	70.6	79.3	70.0	☀ (向上)
評価	(状況) 向上 (原因) 特に30歳未満の割合（R6:74.0%⇒R7:89.9%）と更に増加。また、40歳代、50歳以上も意識向上が見られた。ジェンダー平等の意識は広がっていると推察される。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 🏰 (達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 04 人権尊重と同和教育の推進

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【人権・同和対策室】	23.8	23.6	22.9	21.0	☀ (向上)
評 価	(状況) 前年比0.7ポイント減 (原因) 行政や地域、団体・機関・企業等の研修や啓発、関心のある講座開催などの取り組み効果により、市民一人ひとりが人権を自分ごととして受け止める意識が向上したものと考えられる。					☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (中)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市民や市内企業への人権教育・啓発

指標	人権啓発事業・講座への初めての参加者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【人権・同和対策室】	26.0	20.7	26.3	31.0	☀ (向上)
評価	(状況) 7月講演会 (27.4%) 12月つどい (28.3%)、セミナー (24.3%) 合計226/858人 (26.3%)。昨年度比5.6ポイント増 (原因) 全体的に初めての参加者が増加している。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 児童・生徒への人権教育・啓発

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う小学6年生の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【人権・同和対策室】	84.8	81.7	85.7	85.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比4ポイント増 (原因) 継続的な人権・同和教育の効果により、児童と教員の人権感覚に対する意識が維持できている。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業02 児童・生徒への人権教育・啓発

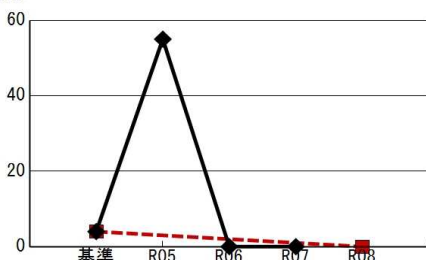
指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う中学3年生の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【人権・同和対策室】	86.7	76.6	74.4	85.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度比2.2ポイント減 (原因) 2年続けて減 中学3年生による数値の低下は「人権意識の薄れ」を示すものである。					☔ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

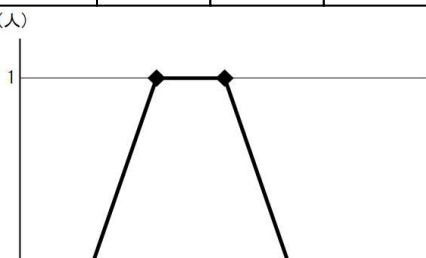
政策 06 安全で安心して暮らせるまちづくり

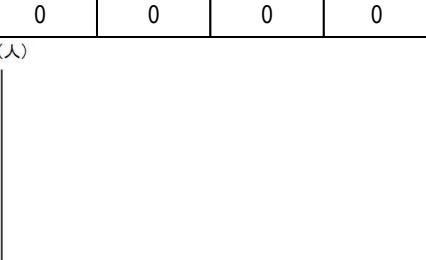
施策 01 防災・減災対策の推進

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	被災世帯・事業所数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	4	0	0	0	☀ (向上)
評価	【状況】 令和7年度は、家屋及び事業所の被害はなかった。	(件) 				☀ (向上)
						☀ (向上)
						目標 達成度
						☀ (達成)

指標②	災害による負傷者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	0	1	0	0	☀ (向上)
評価	【状況】 災害による負傷者は0人だった。	(人) 				☀ (向上)
						☀ (向上)
						目標 達成度
						☀ (達成)

指標③	災害による死亡者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	【状況】 令和7年度において、市内で災害による死亡者は0人だった。	(人) 				☀ (向上)
						☀ (向上)
						目標 達成度
						(---)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防災・災害情報機能の充実

指標	防災・災害情報を取得できる市民の割合（％） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		94.8	98.1	96.9	96.0	☀ (向上)
評価	【状況】 令和7年度市民アンケート結果では、96.9%となり、目標を達成した。 【原因】 特にテレビdボタン（86.2%）やインターネット（52.0%）からの取得が多いが、75歳以上になるとコミュニティ無線や隣近所からの連絡、市の広報車での取得が多くなっている。	(％) 				☀ (向上)
						☁ (横ばい)

基本事業02 地域防災力の向上

指標	家庭での災害時の備えの取組項目数（13項目中）（項目） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		3.7	3.2	3.2	6.5	☔ (低下)
評価	【状況】 前年度と変わらないが、飲料水や食料品の備蓄対応割合が減少している。 【原因】 物価高騰などにより日常生活に余裕がなく、備蓄まで回せない状況なのではと考える。	(項目) 				☁ (横ばい)
						■ ■ ■ (低)

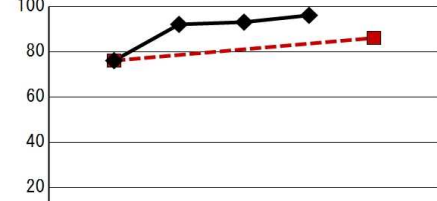
基本事業02 地域防災力の向上

指標	個別避難計画が策定されている要支援者の割合（％） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		9.0	16.73	23.05	15.0	☀ (向上)
評価	【状況】 前年度から6.32ポイント増加した。 【原因】 個別避難計画作成に関する意向調査及び計画作成支援の取り組みを進めたため。 令和7年度は286件で昨年度より26件増加した。	(％) 				☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業03 災害時の支援体制の充実

指標	災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員の割合（団体） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		93.1	90.3	91.7	100.0	☔ (低下)
評価	【状況】 1.4ポイント増加した。 【原因】 増加はしたが、新規採用職員の増加等により、災害時の役割の理解度が低くなっていると考えられる。	(団体) 				☀ (向上)
						■ ■ ■ (中)

基本事業03 災害時の支援体制の充実

指標	災害時応援協定締結数（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値												
	【防災安全課】	76	93	96	86	 (向上)												
評価	【状況】 令和7年度は、株式会社ホンダユーテック、三和ロジコム株式会社、岡山県貨物運送株式会社の3社と災害時応援協定を締結した。（前年度比較+2協定）	(%)  <table><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr><tr><td>基準</td><td>76</td></tr><tr><td>R05</td><td>93</td></tr><tr><td>R06</td><td>96</td></tr><tr><td>R07</td><td>96</td></tr><tr><td>R08</td><td>86</td></tr></table>				項目	値 (%)	基準	76	R05	93	R06	96	R07	96	R08	86	対 前年度
		項目	値 (%)															
基準	76																	
R05	93																	
R06	96																	
R07	96																	
R08	86																	
						 (向上)												
						目 標 達成度												
						 (達成)												

政策 06 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 02 安全な暮らしの推進

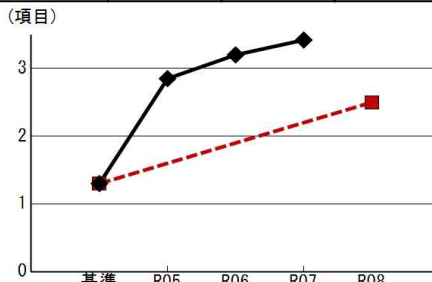
あるべき姿

■施策の成果状況と評価

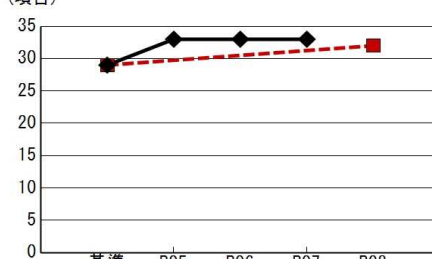
指標 ①	市内の刑法犯認知件数（件） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		188	245	236	138	☂ (低下)
評価	【状況】 前年から9件減少した。	(件) 				☁ (横ばい)
	【原因】 市内の刑法犯認知数の減少は主に凶悪犯の減少によるが、窃盗犯の件数が10件増加した。 凶悪犯 R6年 7件 R7年 1件 窃盗犯 R6年145件 R7年155件					目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)
指標 ②	交通事故発生件数（件） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		223	205	222	167	☁ (横ばい)
評価	【状況】 前年から17件増加した。	(件) 				☂ (低下)
	【原因】 高齢者関連の事故が主に増加している。 R6年88件 R7年104件					目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)
指標 ③	交通事故死傷者数（人） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		296	259	282	222	☁ (横ばい)
評価	【状況】 前年から23人増加した。	(人) 				☂ (低下)
	【原因】 軽傷者数が増加している。 R6年253人 R7年276人					目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (中)

■基本事業の成果状況と評価

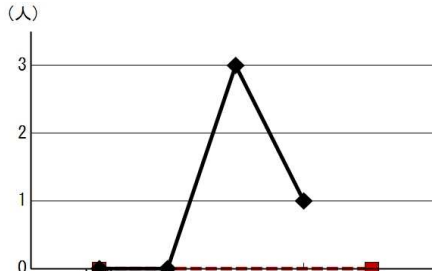
基本事業01 防犯対策の推進

指標	家庭での防犯対策取組項目数（10項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	1.3	3.2	3.42	2.5	 (向上)
評価	【状況】 前年度から0.22pt増加した。					対 前年度
	【原因】 微増ではあるものの、電話勧誘や訪問販売の拒否等、詐欺被害防止の周知啓発活動などにより市民の防犯意識が向上しているためと考えられる。					 (向上)
目標達成度						 (達成)

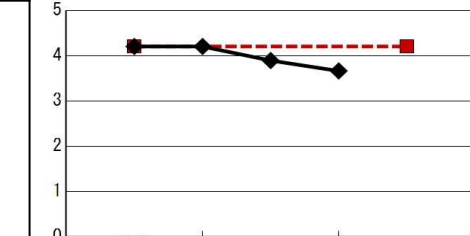
基本事業01 防犯対策の推進

指標	地域での防犯対策実践延べ数（11校区×4項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	29	33	33	32	 (向上)
評価	【状況】 前年度から実績に変化なし。					対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度
						 (達成)

基本事業02 交通安全活動の推進

指標	交通事故死者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	0	3	1	0	 (低下)
評価	【状況】 市内の交通事故死者数は1人だった。					対 前年度
						 (向上)
						目 標 達成度
						 (中)

基本事業02 交通安全活動の推進

指標	高齢者1,000人当たりの交通事故死傷者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	4.2	3.89	3.66	4.2	 (向上)
評価	【状況】 前年比 ▲0.23p					対 前年度
	【原因】 交通事故による高齢者の死者、重傷者数の減によると考えられる。微減のため推移を見守る必要があるが、自主返納制度の普及や免許更新時の認知機能検査などの成果もあると考えられる。					 (向上)
価値		目 標 達 成 度				 (達成)

基本事業03 消費生活の安定

指標	消費者相談の解決率（過去3年平均）（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		94.3	90.5	91.8	95.0	☂ (低下)
評価	（状況）単年度の数値は92.8で前年度より2.3pt低下した。過去3年の平均値では前年度より1.3pt上昇した。 （原因）今年度は、他機関を紹介した案件が昨年度より大幅に増え、センターで解決出来ない案件が増加したことが影響した。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業03 消費生活の安定

指標	クーリングオフを知っている市民の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		73.3	74.6	74.4	82.0	☁ (横ばい)
評価	（状況）前年度より0.2pt低下。 （原因）知っている割合を年代別で見ると、昨年度と比較し、20歳未満は12.8%減、65歳以上は1.8%増となっている。若年層に対する周知機会がないことが考えられる。					対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (低)

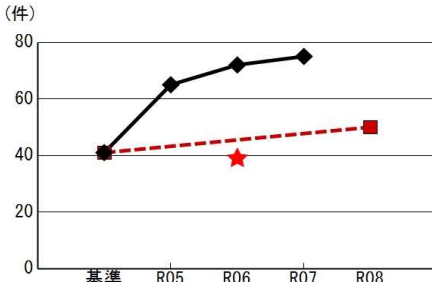
基本事業03 消費生活の安定

指標	特殊詐欺被害件数（件） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		5	1	0	0	☀ (向上)
評価	【状況】令和7年度の発生件数は0件であった。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

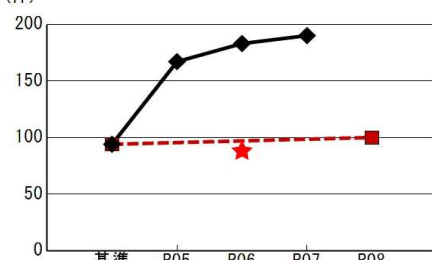
基本事業04 空き家の適正管理

指標	老朽危険家屋の除却件数（累計）（件） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		17	44	49	25	☀ (向上)
評価	【状況】令和7年度除却件数 5件 【原因】空き家問題に対する関心の高まりのほか、市の除却補助事業の周知と対象者への働きかけなどが要因として考えられる。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業04 空き家の適正管理

指標	空き家バンク取引成約件数（累計）（件） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		41	72	75	50	☀ (向上)
評価	【状況】 令和7年度成約件数 3件 【原因】 前年度比では減であるが、空き家問題に対する関心の高まりのほか、市の空き家バンク事業の周知と対象者への働きかけなどによる成果だと考えられる。	(件) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業04 空き家の適正管理

指標	空き家バンク登録件数（累計）（件） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		94	183	190	100	☀ (向上)
評価	【状況】 令和7年度登録件数 7件 【原因】 相続権者等の考えもあり、働きかければその分事業登録が進むものでもないことが考えられる。	(件) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

政策 06 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 03 消防・救急・救助体制の整備充実

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標 ①	人口1万人当たりの火災件数（3.5件） 【予防課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		2.9	1.6	2.3	→	(横ばい)
評価	(状況) 火災件数は11件であり、前年より3件増加しているが、長期的に見ると減少傾向である。 (原因) 内訳は、建物火災8件、車両火災1件、その他火災2件であり、建物火災が前年より4件の増加。令和7年は令和6年に対し全国的に火災件数は増加の傾向にあった。	(3.5件)				対 前年度 (低下) 目 標 達成度 (高)
指標 ②	市の消防や救急体制に満足している市民の割合（%） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		96.8	97.9	97.9	97.0	(横ばい)
評価	(状況) 数値は横ばい (原因) 職員の迅速かつ的確な災害対応等に関し、高い評価をいただいている。	(%)				対 前年度 (横ばい) 目 標 達成度 (達成)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 消防団の充実強化

指標	平時にすぐに消防活動ができる団員の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【総務課】	41.1	42.3	44.2	45.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度と比較し1.9%上昇 (原因) 団員数がわずかに減少しているが、平時に活動できる団員が退団していないため、上昇したと思われる。	(％) 				☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (中)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	火災全体に占める住宅火災の割合 (23.5%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	42.9	12.5	36.4	25.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より増加し、目標値を下回っている。 (原因) 近年、住宅火災においてはモバイルバッテリーをはじめ、電気機器に関する火災が増加しており、令和7年度に発生した住宅火災も同様の火災が発生している。	(23.5%) 				☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	市民による火災に対する初期消火実施率 (70.6%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	50.0	62.5	63.6	→	☀ (向上)
評価	(状況) 初期消火率は63.6%と昨年からほぼ横ばいである。 (原因) 市民及び事業所に対する訓練指導の成果と思われる。	(70.6%) 				☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (中)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	住宅用火災警報器設置率 (61.25%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	76.0	53.14	66.0	85.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度と比較して12.86%の増加となった。 (原因) 継続的な啓発活動により、住警器の重要性に対する認識が浸透していると思われる。	(61.25%) 				☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (中)

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	市民による心肺停止患者への蘇生術の実施率（％） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		76.4	66.1	68.7	80.0	(横ばい)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) 119通報を受信する指令センターと救急隊のPACが功を奏したものと思慮。年により数値が異なるが、救命講習の需要は増加傾向にあるため数値も比例するものと推測。	(％) 				対 前年度
						(向上) 目 標 達 成 度 (中)

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	軽症での救急車利用割合（％） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		42.7	45.4	46.9	30.0	(横ばい)
評価	(状況) 数値は横ばいの状況。 (原因) # 7 1 1 9等の利用率は増加しているものの、救急車の軽症利用には比例していない状況である。高齢化、独居や不安等診療的な部分もあると史料。	(％) 				対 前年度
						(横ばい) 目 標 達 成 度 (中)

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	人口千人当たりの救急救命士の割合（人） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		0.2	0.26	0.34	0.3	(向上)
評価	(状況) 数値は横ばい (原因) 救命士は毎年養成しているものの救命士として搭乗するには約2年の歳月が必要。退職や承認昇格もあり、数値的に伸び悩んでいる状況。今後、人口減少も考慮する必要あり。	(人) 				対 前年度
						(横ばい) 目 標 達 成 度 (達成)

基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底

指標	立入検査時、消防設備が維持されていない割合（過去5年平均）（15.9％） 【予防課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		17.2	17.4	17.0	→	(横ばい)
評価	(状況) 昨年度に続きほぼ横ばいである。 (原因) 継続して是正指導を行ったことによりわずかな改善がみられる。	(15.9％) 				対 前年度
						(横ばい) 目 標 達 成 度 (中)

基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底

指標	危険物施設の火災・漏洩事故発生件数（件） 【予防課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		2	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 危険物施設に関する火災・漏洩事故の発生なし。 (原因) 危険物施設への立入検査を適宜実施し、是正指導を行っていること等が事故防止に繋がっていると思料する。	(件) 				対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 🏠 (達成)

基本事業05 各種消防力の整備

指標	市消防本部の通常人員で対応できなかった出動回数（回） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		40	63	58	0	☂ (低下)
評価	(状況) 数値は横ばいである。 (原因) 救急件数は若干の増減はあるものの、増加傾向。人口は減少するものの今後は高齢化に伴い救急需要が増加するものと推定。これにより引き続き災害が輻輳することが予想される。	(回) 				対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業05 各種消防力の整備

指標	資機材トラブル件数（件） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		27	38	34	0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 数値は横ばいである。 (原因) 発生はしているものの、通常の細やかな点検等による事前の発見・確認を行い、実災害時への影響は認められない状況である。	(件) 				対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (高)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 01 市民協働の推進

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	地域活動へ参加している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値												
	【協働推進課】	46.7	52.5	54.1	60.0	☀ (向上)												
評価	・酷暑（6-10月頃）の影響を考慮して、イベント開催時期の設定や熱中症対策を講じるなど、地域行事に多くの方が参加できる工夫を行いながら実施している ・SNS等を用いての地域役員間の連絡も少しずつ進んでいることも、イベントの周知や負担軽減にも寄与していると思われる。	(％) <table><caption>参加率推移表</caption><thead><tr><th>指標</th><th>基準値 (R03)</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>目標値 (R08)</th></tr></thead><tbody><tr><td>参加率 (%)</td><td>46.7</td><td>52.5</td><td>54.1</td><td>54.1</td><td>60.0</td></tr></tbody></table>				指標	基準値 (R03)	R05	R06	R07	目標値 (R08)	参加率 (%)	46.7	52.5	54.1	54.1	60.0	対 前年度
						指標	基準値 (R03)	R05	R06	R07	目標値 (R08)							
						参加率 (%)	46.7	52.5	54.1	54.1	60.0							
						☁ (横ばい)												
目 標 達 成 度																		
						■■ (中)												

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	身近な地域活動が盛んであると感じている市民の割合（％） 【協働推進課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		-	45.8	47.2	50.0	(比較不可)
評価	・地域住民のみなさんが参加できる防災訓練や閉校した小学校区のコミュニティ協議会が行う工夫を凝らしたイベント等の実施、イベントへの参加の機会を通して地域活動の存在を知る機会が提供できた。なお、イベント実施時の酷暑対策など参加しやすい環境整備も奏功したと思われる。					(比較不可)
						対 前年度 (横ばい) 目標 達成度 (中)

基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	行政区加入率（％） 【協働推進課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		94.2	92.6	92.8	94.5	(横ばい)
評価	行政区加入促進パンフレットを作成し、各行政区や市窓口にて配布を行っているが、前年比で微増となっている。ふれあいイベント、安心安全の取組み、環境美化、子どもや高齢者の見守り等の基本的な自治会活動への理解から深めていく必要がある。					(横ばい)
						対 前年度 (横ばい) 目標 達成度 (中)

基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア団体の数（団体） 【協働推進課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		39	39	42	42	(向上)
評価	・市民団体相互の理解を図る目的で8月と2月に代表者会議を実施。8月の代表者会議での円卓会議では団体毎の課題を話すことで運営上の不安の解消に繋がった。 ・団体の紹介冊子を作成し周知を図ると共に、補助金の活用による活動の支援を行った。					(向上)
						対 前年度 (向上) 目標 達成度 (達成)

基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア団体構成員（人） 【協働推進課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		1,744	2,023	2,081	1,850	(向上)
評価	令和7年度は新規市民活動団体登録が4団体、抹消団体が1団体と純増の3団体となり、併せて構成員が増加した。多様な市民活動団体が登録され、活動の活性化が感じられる。					(向上)
						対 前年度 (向上) 目標 達成度 (達成)

基本事業03 国際化・多文化共生の推進

指標	多文化共生を理解している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【協働推進課】	-	40.2	46.7	25.0	(比較不可)
評価	日本を訪れる多くの外国人だけでなく、市内のお店や職場、学校、街中など日常生活の多くの場面で市民として生活する多くの外国人を見る機会が増えた。また少子高齢社会と人口減少時代の到来により、日常生活における外国人労働者の重要性も増しており、外国人に対する理解も深まっていると思われる。					(対前年度)
						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事業03 国際化・多文化共生の推進

指標	外国語等を用いた情報提供件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【協働推進課】	5	19	23	12	(向上)
評価	市の窓口業務における機器の外国語表示の導入や市が配付する各種冊子の多言語対応等により外国語での情報提供が可能となった。 また、携帯電話の翻訳機能の向上などにより、日常生活での日本語の理解が進み利便性が向上したと思われる。					(対前年度)
						(向上) 目標達成度 (達成)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 02 デジタル化の推進

あるべき姿

「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を実現すること。また行政事務が最適化され、職員負担の軽減と事務の効率化が同時に実現できること。

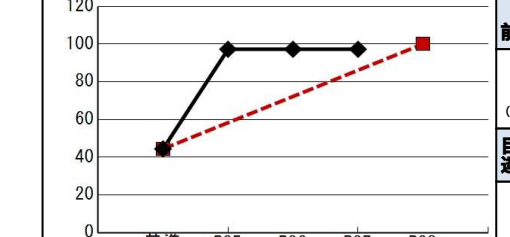
■施策の成果状況と評価

指標①	行政手続きのオンライン申請率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	18.4	42.3	51.6	51.0	☀ (向上)
評価	R6:42.3%⇒R7:51.6%(9.3pt) 電子入札システムの運用開始により、入札参加資格及び電子入札の件数が加算された結果、前年度と比して向上。しかし「子育て・介護関係」「被災者支援・転入・転出手続関係」は依然として7.0%と低水準。					☀ (向上)
						☀ (向上)
						目標達成度 (達成)

指標②	マイナンバーカードを取得している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	45.0	86.3	82.4	95.0	☂ (低下)
評価	未成年のマイナンバーカード有効期限が到来したことに伴い交付件数が増加し、従来の取得方法では正しい指標の算出が出来なくなった(100%を超えてしまう)ことから指標の取得方法を変更している。					☂ (低下)
						☂ (低下)
						目標達成度 (中)

■基本事業の成果状況と評価

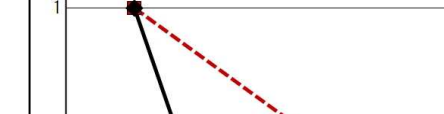
基本事業01 行政のデジタル化の推進

指標	国が示すオンライン化を推進すべき手続きのオンライン化達成率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	44.4	97.2	97.2	100.0	 (向上)
評 価	高齢者支援課との協議を通じ、残る「居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書」についてもR8年度中に電子申請利用可とする見込み。	(％) 				 (向上)
						対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度
						 (高)

基本事業01 行政のデジタル化の推進

指標	デジタル化により短縮した業務時間（累計）（時間） 【企画調整課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		-	6,019	12,892	23,000	☀ (向上)
評価	新たなデータ抽出3件（195H）、運用中のRPA27本（計2,921H）、AI-OCR実績5,827頁（324H）、文書管理システム更改に伴う効果（計1,345H）、生成AI実証に伴う効果（2,088H）→R7計6,873時間となる。R6年度までの実績に加算すると12,892時間となる。	(時間) 				☀ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業01 行政のデジタル化の推進

指標	重大インシデント発生回数（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	1	0	0	0	 (向上)
評 価	令和7年度中に重大インシデント（インシデントが住民の生活や行政運用に重大な影響を与える場合）の発生はなし。R7.9にファイルサーバー起動障害が発生したが協議の結果重大インシデントとして計上せず。	(％) 				対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度  (達成)

基本事業02 地域のデジタル化の促進

指標	DX実践による地域課題解決件数（累計）（件） 【企画調整課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		-	6	7	10	☀ (向上)
評価	以下の事業について「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の交付申請を行い事業を実施した。 ・介護認定調査業務のDX化事業	(件) 				☀ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 地域のデジタル化の促進

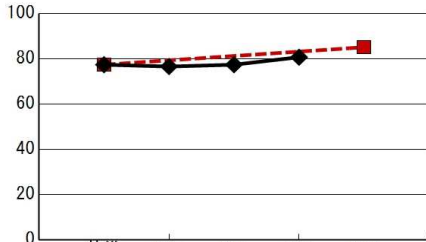
指標	市のICTサービスを利用している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	58.9	70.2	61.8	80.0	☂ (低下)
評価	昨年度と比して▲8.4ポイントと大きく下落した。アンケートの設問スペースの問題で、選択肢を18項目⇒5項目（及び「利用したことがない」）と大幅に減らしたことに伴い、具体的に利用したサービスを認識しにくくなったとも推察される。	(％) 				対 前年度
		100 80 60 40 20 0 基準 R05 R06 R07 R08				☂ (低下) 目 標 達 成 度 ■■■ (中)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 03 積極的な広報・広聴の展開

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	市政情報が、広報・広聴により適切に共有できていると思う市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【総務広報課】	77.3	77.3	80.6	85.0	☀ (向上)
評 価	(状況) 前年度比3.25ポイント増加。基準値に対してはやや増加。 (原因) 令和6年度にホームページをリニューアルし、検索しやすさや分かりやすさ、アクセシビリティへの対応を強化したことが少しずつ浸透してきているものとする。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 広報の充実

指標	行政からの情報がわかりやすく伝えられていると思う市民の割合（％） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		77.3	74.7	78.8	85.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比4.1ポイント増。対基準値も5.6ポイント増加しているが目標値には達していない。 (原因) 対象者別の効果的な発信ツールの選択が少しずつ出来てきているものとする。また、市ホームページをリニューアルし、見やすさやアクセシビリティへの対応を実施したことも一因であるとする。	(％) 				対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業01 広報の充実

指標	パブリシティにより、新聞5紙に掲載された筑後市関連の記事件数（件） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		161	119	105	250	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度より14件減。基準値より56件減。 (原因) リリース件数自体は大きく変化がなかったものの（R6 138件、R7 135件）、周年記念事業や新規事業など「興味を引くリリース内容」が前年度に比べると少なかったものと考えられる。	(件) 				対前年度 ☂ (低下)
						目標達成度 ■■ (低)

基本事業02 広聴の充実

指標	意見を行政に伝える機会に満足している市民の割合（％） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		77.2	79.8	82.3	85.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比2.5ポイント増加、基準値より5.1ポイント増加するが、目標値には達していない。 (原因) 意見提出のツールは前年と同様だが、広報紙等での周知による市民への浸透及びパブリックコメントにおける周知方法の工夫などにより増加したものとする。	(％) 				対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 広聴の充実

指標	広聴による年間の市民からの意見件数（件） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		697	927	752	800	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より175件減。基準値より県増。 (原因) 前年度の庁舎建設等に係るパブリックコメントでの大量の意見提出分（221件）を差し引くと46件の増となっている。市民の興味を引く案件の有無にも左右されるものとする。	(件) 				対前年度 ☂ (低下)
						目標達成度 ■■ (中)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 04 持続可能な行政経営

あるべき姿

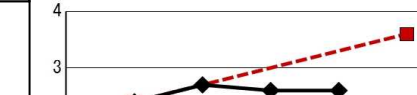
■施策の成果状況と評価

指標①	全施策の市民満足度平均 (pt)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値										
	【企画調整課】	3.04	3.09	3.10	3.2	☀ (向上)										
評価	(状況) 前年比0.01pt向上した。 (原因) 明確な要因は不明。	(pt) <table><thead><tr><th>指標</th><th>基準値 (R03)</th><th>実績値 (R06)</th><th>実績値 (R07)</th><th>目標値 (R08)</th></tr></thead><tbody><tr><td>市民満足度平均 (pt)</td><td>3.04</td><td>3.09</td><td>3.10</td><td>3.2</td></tr></tbody></table>				指標	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	市民満足度平均 (pt)	3.04	3.09	3.10	3.2	☁ (横ばい)
	指標	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)											
市民満足度平均 (pt)	3.04	3.09	3.10	3.2												
						目 標 達 成 度 ■■ (中)										

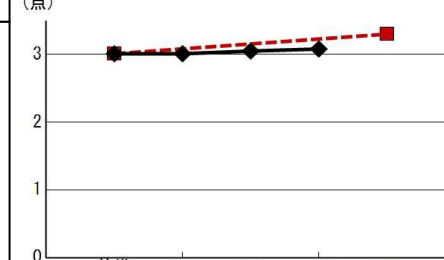
指標②	総合計画（重点基本事業）の成果指標向上割合（対基準値）（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値										
	【企画調整課】	74.1	50	58.3	85.0	☔ (低下)										
評価	（状況） 24成果指標の内、14成果指標が対基準値で向上している。 （原因） 「全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合」と「地域福祉活動に参加している市民の割合」の2指標の実績が向上したため。 基準値が高く基準値を上回れない指標が複数あり、大幅な実績増加につなげっていない。	(%) <table><thead><tr><th>指標</th><th>基準値 (R03)</th><th>実績値 (R06)</th><th>実績値 (R07)</th><th>目標値 (R08)</th></tr></thead><tbody><tr><td>総合計画（重点基本事業）の成果指標向上割合 (%)</td><td>74.1</td><td>50</td><td>58.3</td><td>85.0</td></tr></tbody></table>				指標	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	総合計画（重点基本事業）の成果指標向上割合 (%)	74.1	50	58.3	85.0	対 前年度
						指標	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)						
総合計画（重点基本事業）の成果指標向上割合 (%)	74.1	50	58.3	85.0												
						☀ (向上)										
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)										

■基本事業の成果状況と評価

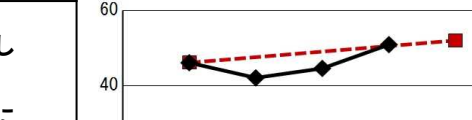
基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	P D C Aサイクルのための取組平均実践項目数（監督職以上）（6項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		2.4	2.6	2.6	3.6	 (横ばい)
評価	(状況) R5年度以降、数値は横ばいで推移。 (原因) PDCAサイクルのうち実践が低調なのは「A」の領域。「P」「D」「C」の領域は比較的数字が高く、評価結果に基づく選択と集中の部分がうまく機能していないといえる。義務的経費の増高、財政状況の逼迫等による財政の硬直化が一因と考えられる。	(項目) 				対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度
						 (低)

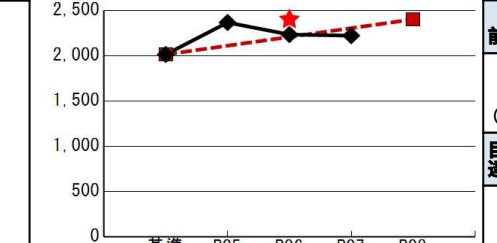
基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	人事評価における改善実践力の平均点（5点満点）（点）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値													
	【企画調整課】	3.01	3.05	3.08	3.3	 (向上)													
評 価	（状況） 微増 （原因） 行政経営システムの入力等の機会を通じて、職員1人ひとりが主体的に業務改善に取り組める環境が定着してきている。一方で、与えられた業務をこなすのみという認識の職員も一定数おり、全体的な数値としては大きく増減しない。	(点)  <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>点</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>3.01</td></tr><tr><td>R05</td><td>3.05</td></tr><tr><td>R06</td><td>3.08</td></tr><tr><td>R07</td><td>3.08</td></tr><tr><td>R08</td><td>3.3</td></tr></tbody></table>				年次	点	基準	3.01	R05	3.05	R06	3.08	R07	3.08	R08	3.3	対 前年度	目 標 達成度
		年次	点																
基準	3.01																		
R05	3.05																		
R06	3.08																		
R07	3.08																		
R08	3.3																		
			 (向上)	 (中)															

基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	事務事業の成果指標向上割合（対基準値）（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	46.1	44.6	50.9	52.0	 (向上)
評価	(状況) 通常評価事業の167成果指標のうち、向上85・低下68・変化なし等14。 (原因) 昨年度から6.3pt上昇。事務事業の統廃合や評価区分の見直しによる指標数減少の影響もあるが、向上・低下指標ともに約9割が2年連続で同傾向。PDCAサイクルは機能しているが、低下事業の改善策検討が必要。					対 前年度
						 (向上) 目 標 達成度  (高)

基本事業02 転入の促進と転出の抑制

指標	転入者数（外国人含む）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		2,012	2,232	2,220	2,400	 (向上)
評価		(人) 				対 前年度
						（状況）R6年度2,227人で、昨対比▲7人。（指標取得時点以後に生じた月報の請求修正によりR6実績の数値にズレが生じている）。 （原因）日本人転入者は昨対比▲13人（1,759⇒1,746）に対し、外国人転入者は昨対比+6人（468⇒474）であり、日本人転入者の減が転入者減の要因となっている。
						目 標 達成度
						 (中)

基本事業02 転入の促進と転出の抑制

指標	転出者数（外国人含む）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	2,056	2,189	2,182	2,300	☂ (低下)
評価	(状況) R6年度2,149人で、昨対比+33人。(指標取得時点以後に生じた月報の訴求修正によりR6実績の数値にズレが生じている)。 (原因) 日本人転出者は昨対比▲12人(1,772⇒1,760)に対し、外国人転出者は昨対比+45人(377⇒422)であり、外国人転出者の増が短出者増の要因となっている。					☂ (低下)
						目 標 達成度 ☂ (達成)

基本事業02 転入の促進と転出の抑制

指標	居注意欲度の県内順位（位）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	9	12	27	6	☂ (低下)
評価	(状況) 全国順位は前年度416位から914位となった。 (原因) 順位の基準となる点数は4.5点で昨対比△1.4ptの大幅減。同調査では他に観光意欲度、魅力度、産品想起率（食品以外）、情報接触度等で順位が低下。プロモーション不足による埋没が懸念される。					☂ (低下)
						目 標 達成度 ☂ (低)

基本事業03 広域連携の推進

指標	広域行政（連携）によって効率的かつ効果的にまちづくりが進められていると思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	30.6	33.1	38.1	40.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨対比5.0ptの大幅増。 (原因) 令和6年3月に流域治水プロジェクト推進計画が策定され、広域行政により実施される職務領域が拡大。2度の出水期を経て当該状況の認識が浸透していることなどが要因として考えられる。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (中)

基本事業03 広域連携の推進

指標	本市を含む地方公共団体の組合等で共同処理されている事務事業件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	15	15	15	15	☁ (横ばい)
評価	(状況) 変化なし					☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ☁ (達成)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 05 持続可能な財政運営

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

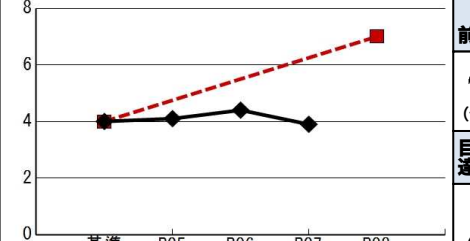
指標 ①	経常収支比率 (%) 【財政課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		87.6	90.5	95.0	92.0以下	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度に比べ4.5ポイント悪化し、目標を大きく下回った。 (原因) 賃上げを背景とした人件費増、処遇改善を反映した扶助費の増が急激に生じ、経常収入増を上回る経常支出増加という結果になった。削減が困難な扶助費などの経常支出が増加しており、財政の柔軟性は極小化している。	(%) 				対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)
指標 ②	実質公債費比率 (%) 【財政課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		8.4	8.3	8.0	9.0以下	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度に比べ0.3ポイント改善し8.0%となった。 (原因) 令和7年度単年度の値は7.5%で令和6年度から改善したものの、要因は標準財政規模の増加等によるものであり、償還負担は横ばいの状況。今後の増加に留意する必要がある。	(%) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)
指標 ③	財政調整基金残高 (億円) 【財政課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		22.9	25.3	25.4	20.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から1千万円増加した。 (原因) 基金の取り崩しは行っていない。債券運用等に係る利子収入について積み立てを行った。この結果、残高が若干増加となった。	(億円) 				対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ☀ (達成)
指標 ④	市の行政運営や税金の使い方に納得していない市民の割合 (%) 【財政課】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
		6.7	11.4	7.6	10.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から3.8pt改善し、目標を達成した。 (原因) 回答総数が15%増加し、概ね納得できる人の割合が相対的に増加。一方「納得できない」数は減少。理由を見る限り、負担軽減や世代ごとの支援が不足しているとの意見が多数を占めており、社会全体の負担感増が引き続き影響したと思われる。	(%) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 税収等による財源確保

指標	市税収納率[現年度分] (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【税務課】	99.2	99.17	99.06	99.0	 (低下)
評 価	(状況) R6比で0.11ポイントの減少となった。 (原因) 調定額が過去最高を記録する中、滞納総額も増加している。物価上昇による経済情勢が背景にあるが、今後も適正徴収に努め収納率を維持向上する必要がある。	(%) 基準 R05 R06 R07 R08				対 前年度
						 (低下)
						目 標 達成度
						 (達成)

基本事業01 税収等による財源確保

指標	ふるさと納税寄付額（億円）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値												
		4.0	4.4	3.9	7.0	 (横ばい)												
評価	（状況）R6年度比▲12%の3.9億円となった。 （原因）返礼品規格の多様化、現地決済型サービスの事業者を増やしたものの寄附額増加には繋がらなかった。	(億円)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値 (億円)</td><td>4.0</td><td>4.4</td><td>3.9</td><td>7.0</td><td></td></tr></tbody></table>				項目	基準	R05	R06	R07	R08	実績値 (億円)	4.0	4.4	3.9	7.0		対 前年度
		項目	基準	R05	R06	R07	R08											
実績値 (億円)	4.0	4.4	3.9	7.0														
					 (低下)													
					目 標 達成度													
					 (低)													

基本事業01 税収等による財源確保

資金運用による収益額（千円）		基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値												
指標	【出納室】	16,314	35,501	44,350	20,000	☀ (向上)												
評価	（状況）計画達成 債券運用額は、合計 39億円であり、令和7年度の運用収益（利子収入）は、44,350,664円となった。 （原因）大口定期運用の利率が、R6年度は0.2%であったものが、R7年度は、前半0.48%、後半0.6%に上昇したため	(千円) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (千円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>16,314</td></tr><tr><td>R05</td><td>24,000</td></tr><tr><td>R06</td><td>35,501</td></tr><tr><td>R07</td><td>44,350</td></tr><tr><td>R08</td><td>20,000</td></tr></tbody></table>				項目	値 (千円)	基準	16,314	R05	24,000	R06	35,501	R07	44,350	R08	20,000	対 前年度
						項目	値 (千円)											
						基準	16,314											
						R05	24,000											
R06	35,501																	
R07	44,350																	
R08	20,000																	
	☀ (向上)																	
	目 標 達成度																	
	🏠 (達成)																	

基本事業02 計画的な財政運営

基礎的財政収支（億円）		基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値											
指標	【財政課】	+5.8	+3.5	+1.5	±0												
		(億円)					(比較不可)										
評価	（状況）公債費支出（地方債償還）を地方債歳入（地方債発行）が上回っているものの、税・国交付金が増加したことで基礎的財政収支は1.5億のプラスとなった。 （原因）物価高騰や賃上げの影響で、市税等が増収、歳入総額も増加し、投資活動収支のマイナスを財務活動収支のプラスで補っている状態。	<table border="1"><caption>基礎的財政収支の推移（億円）</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>基礎的財政収支</td><td>+5.8</td><td>+3.5</td><td>+1.5</td><td>±0</td></tr></tbody></table>					項目	基準	R06	R07	R08	基礎的財政収支	+5.8	+3.5	+1.5	±0	対 前年度
		項目	基準	R06	R07	R08											
		基礎的財政収支	+5.8	+3.5	+1.5	±0											
							(比較不可)										
					目 標 達成度												
					■■ (中)												

基本事業02 計画的な財政運営

指標	実質収支比率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【財政課】	15.5	14.3	15.5	3.0以上	(比較不可)
評価	(状況) 昨年度に比べ1.3pt上昇した。 (原因) 市税の増加など歳入増の要因と、歳出の執行率が想定より低下した要因、双方が重なり、単年度でマイナスの想定から、プラスに転換する結果となった。					(対前年度)
						(比較不可)
						目標達成度
						(達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	2026（令和8）年度までの施設(ハコモノ)の削減率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【財政課】	3.4	8.4	19.1	10.0	(向上)
評価	(状況) 対前年度比10.7ポイント増加 (原因) 筑後南小学校建設に伴い水田小学校の除却が完了。弓道場は除却せず据え置いているため4,695㎡の除却が実現した。					(対前年度)
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	建物更新計画策定率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【財政課】	83.9	81.6	81.6	100.0	(低下)
評価	(状況) 前年度から変化はなく推移 (原因) 策定完了施設数31/対象施設数38					(対前年度)
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	公共建築物長寿命化計画に基づく（中・大規模）改修達成率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【財政課】	100.0	100	100	80.0	(横ばい)
評価	(状況) 公マネ委員会で優先することを確認した事業5件全て予算化することができた。 (原因) 委員会の中で中期的な事業費及び償還にかかる実質負担の見通しを共有し、優先事業以外の事業は中止又は延期を含む予算編成上の枠内での調整をすることとした。					(対前年度)
						(横ばい)
						目標達成度
						(達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

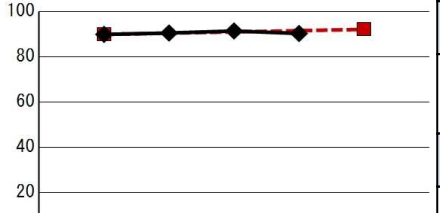
指標	庁舎建設基金残高（億円）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【庁舎建設推進室】	18	36	37	29	☀ (向上)
評価	(状況) 令和7年度に123,857,684円の積立てを実施。基金残高は3,760,997,202円となった。 (原因) 当初予定していた1億円に利息を追加し積み立てたことによる。	(億円) 				対 前年度
						(比較不可) 目標 達成度 (達成)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 06 市民から信頼される職員・組織づくり

あるべき姿

■施策の成果状況と評価

指標①	職員の仕事ぶりに満足している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	89.8	91.3	90.2	92.0	 (向上)
評 価	前年比1.1%減となったが、依然として概ね9割程度の市民から満足を得ている。一方、不満の理由としては、一部職員の接遇・態度の悪さや、窓口対応の属人的なバラつきが目立つ。また、事務処理や手続きの遅さ、他市と比較したサービス水準への疑問などの意見もあった。					対 前年度
						 (低下)
						目 標 達 成 度
						 (高)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	市の組織は効率的かつ機能的になっていると思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	79.7	73.1	78.2	82.0	☂ (低下)
評価	前年度からは上昇したものの、目標値を下回った。「そう思わない」と回答した職員の意見では、主に構造的な縦割り体制、業務プロセスの複雑さ、人員不足が指摘されており、これら複合的な要因が影響している可能性も考えられる。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	人口1万人当たり職員数（類似団体の平均値に対する割合）（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	64.6	65.0	64.8	64.5	☂ (低下)
評価	前年度比0.2ポイント改善。重点事業への重点配分や時間外対策・育休代替へ対応として、最適な体制構築に向けた人員配置を行ったことにより、職員数は増加した。しかしながら、全国的にも同様の傾向（職員数増）が見られる中、市の数値としては改善している。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	人材育成（諸施策）により職員の能力が向上していると思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	63.3	56.1	65.3	68.0	☀ (向上)
評価	前年度比9.2ポイント上昇した。また、「思わない」と回答した意見の中には、慢性的な業務繁忙によるOJTに費やす余裕のなさや、人材育成方針の認識不足、評価制度への納得感に関する課題が挙げられており、回答に一定の影響を与えていると推察する。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	職員全体の待遇が適切だと思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	84.8	80.7	82.5	95.0	☂ (低下)
評価	前年度から1.8ポイント上昇したものの目標値を大きく下回っている。「待遇ができていない」と回答した理由の多くに、「あいさつができていない」といった意見が見られ、一部の職員の応対等が評価に一定の影響を与えたものと推察される。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (中)

基本事業03 健康で安心して働ける職場づくり

指標	年次有給休暇（5日未満）・超過勤務（月45時間・年360時間超）・公務災害に該当した職員数（人） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		347	128	106	150	☀ (向上)
評価	①年休取得5日未満：10人 ②時間外月45時間超：74人 ③時間外年360時間超：18人 ④公務災害：4人 所属長を通じた勧奨等により、年休取得5日未満の職員数や長時間労働者数は前年に比べ減少。非常勤職員の公務災害が増加している。	(人) 				対前年度 ☀ (向上)
		目標達成度 				☀ (達成)

基本事業03 健康で安心して働ける職場づくり

指標	法令遵守が徹底されている職場になっていると思う職員割合（%） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R08)	対基準値
		87.9	89	92.6	95.0	☀ (向上)
評価	「法令遵守が徹底されている」と回答した職員の割合は年々向上し、目標値に向けて順調に推移している。また、これまで課題であった消防本部においても、前年度比で改善が見られる。個別意見から、継続的な職場環境改善の取り組みの成果と推測される。	(%) 				対前年度 ☀ (向上)
		目標達成度 				■■■ (高)